4-652-411-**01** (1)

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

また、この取扱説明書では、以下のことについて説明しています。

- **本機を使う前に必要な準備**
- **電源の入れかた／切りかた**
- **コンピュータの基本的な使いかた**
- **インターネットへの接続のしかた**

コンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、よくご存知の方も、必ずこの取扱説明書からお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

パーソナルコンピューター

PCV-J15

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8〜13ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

❶ **電源を切る**

❷ **電源コードや接続ケーブルを抜く**

❸ VAIO**カスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する**

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

プラグをコンセントから抜く

アース線の接続について

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合のCD-RWドライブが搭載されています。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用することはできません。また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。コピーガード信号の入った映像は録画することができません。

本機の内蔵モデムについて

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法（技術標準）に違反する行為となります。工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

本書で使われている画面のイラストについて

本書で使われている画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- □ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- □ CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。

目次

はじめに

コンピュータの基本操作を練習する

カスタマー登録する／インターネットに接続する

本機の使いかたがわからないときに

困ったときは

その他

操作の流れ

本機をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。

1

付属品を確かめる（18ページ）

箱を開け、この説明書を読みながら本機の付属品がすべてそろっているか確かめます。

2

各部のなまえ（20ページ）

本機の各部のなまえを紹介します。

3

設置する（22ページ）

本機を設置する場所を決めます。

4

接続する（24ページ）

ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード、電源コードを接続します。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は
NTT（局番なしの116番）にご相談ください。

5

電源を入れる（31ページ）

本機の電源を入れます。

6

Windows Me**を準備する**（32ページ）

Windows Meを使うための準備をします。

7

電源を切る（40ページ）

本機の電源を切ります。

必要に応じて下記もご覧ください。

❏ コンピュータの基本操作を練習する（41ページ）

コンピュータを初めてお使いになる方は、このページをお読みになり、マウスやキーボードの使いかたを練習してください。

❏ カスタマー登録する／インターネットに接続する（93ページ）

登録カスタマー専用のいろいろなサービスを受けられるように本機をカスタマー登録してください。
インターネットを始めたい方は、このページをお読みになり、インターネット接続のための準備を行います。ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりする方法も練習してください。

❏ 本機の使いかたがわからないときに（167ページ）

本機の使いかたがわからなくなったときに、読むマニュアルやヘルプの使いかたを説明しています。

❏ 困ったときは（185ページ）

本機を操作していてトラブルが発生したときにご覧ください。

❏ その他（231ページ）

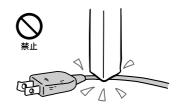
本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

⚠警告 火災 感電 **下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。**

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- 各種の拡張ボード(基板)を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したらテレホンコードや電源プラグに触らない

感電の原因になります。

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

禁止

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。**

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。

運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

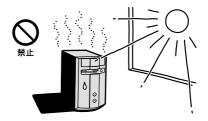
移動させるときは電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

こんなことができます

本機は、簡単な操作でインターネットを楽しんだり、動画や静止画を加工したり、音楽CDやビデオCDを再生したり、自分だけの音楽CDを作ったりと、パーソナルな用途に幅広くご活用いただける、ソニーならではのコンピュータです。
ここでは、本機を使ってできることの例をあげてみましょう。

やりたいことの操作や困ったときの解決方法を簡単に調べられます

世界中のホームページを楽しめます

動画を取り込んで加工できます

電子メールをやりとりできます

静止画を取り込んで自由自在に活用できます

音楽CDやビデオCDを楽しめます

自分だけの音楽CDやデータCDが作れます

やりたいことの操作や困ったときの解決方法を簡単に調べられます

コンピュータの基本操作や付属のソフトウェアの操作のしかたを知りたい、トラブルが起きたので解決方法を知りたいといったときに簡単に検索できます。
詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」の「「サイバーサポート」ソフトウェアを使う」をご覧ください。

世界中のホームページが楽しめます

インターネットに接続してホームページを見たり、自分のホームページを発表したりできます。
詳しくは、「インターネットを始める」(105ページ)をご覧ください。

電子メールをやりとりできます

インターネットに接続して電子メールをやりとりできます。
詳しくは、「インターネットを始める」(105ページ)をご覧ください。

音楽CDやビデオCDを楽しめます

音楽CDやビデオCDを再生して楽しむことができます。
詳しくは、本機オンラインマニュアルの「バイオを楽しむ」内「音楽CD／ビデオCDを再生する」をご覧ください。

自分だけの音楽CDやデータCDが作れます

好きな曲を集めて自分だけのオリジナルCDを作ったり、大容量のデータをCDに保存して、自分だけのデータCDを作ることができます。
詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CD-RW／CD-Rにデータを記録する」をご覧ください。

静止画を取り込んで自由自在に活用できます

本機にデジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーなどをつないで、静止画を取り込めます。取り込んだ静止画は加工して楽しむことができます。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「バイオを楽しむ」内「静止画を管理する」をご覧ください。

動画を取り込んで加工できます

本機にデジタルビデオカメラレコーダーなどをつなぎ、動画を取り込んで加工できます。
詳しくは、本機オンラインマニュアルの「バイオを楽しむ」内「動画を編集する」をご覧ください。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りの接続や準備を完了しておく必要があります。次ページからの説明に従って、本機の接続と準備を行ってください。
また、それぞれの操作について詳しくは、本機オンラインマニュアルまたは各ソフトウェアの取扱説明書またはオンラインマニュアルをご覧ください。

GO!

はじめに

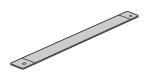
この章では、本機を使う際に最初に行う準備について説明します。準備が整うと、本機のいろいろな機能が使えるようになります。

付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❑マークにチェックしながら確認すると便利です。
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO（バイオ）カスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
本書で使用するものについては、がついています。

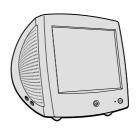
❑ コンピュータ本体（1）

❑ キーボード（1）

❑ パームレスト（1）

❑ テンプレート（1）

ちょっと一言
パームレストとテンプレートはキーボードの箱の中に入っています。

❑ マウス（1）

❑ ディスプレイおよびその付属品（1）

上のイラストはソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイHMD-A101です。お買い求めの機種によってはソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイHMD-A200が付属しています。

❑ アクティブスピーカー（2）

❑ ヘッドホンフック（1）

ちょっと一言
ヘッドホンフックはソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイHMD-A101にのみ付属しています。

ケーブル

❑ 電源コード（1）

❑ スピーカー用ACアダプタ（1）

❑ テレホンコード（1）

説明書および CD-ROM

❑ 取扱説明書（本書、1）

❑ 接続／拡張マニュアル（1）

❑ 「Microsoft® Windows® Millennium Edition※」クイックスタートガイド（1）

※ 以降、Windows Meと略します。

❑ リカバリ CD-ROMパッケージ（1）

ご注意

「Microsoft® Windows® Millennium Edition」クイックスタートガイドとリカバリ CD-ROMは再発行できませんので、大切に保管してください。

ちょっと一言

- 本機の使いかたについて詳しくは、本機のオンラインマニュアルをご覧ください。使いかたについて詳しくは、「本機のオンラインマニュアルを見るには」（170ページ）をご覧ください。
- 以下のソニー製のソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧になるときは、キーボードのS6キーを押して「CyberSupport」ソフトウェアをお使いになるか、「スタート」メニューの「VAIO」の中をご覧ください。
  使いかたについて詳しくは、「付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには」（177ページ）および「「サイバーサポート」ソフトウェアの使いかた」（182ページ）をご覧ください。
  - 「DVgate」ソフトウェア
  - 「Media Bar」ソフトウェア
  - 「MovieShaker」ソフトウェア
  - 「Navin' You」ソフトウェア
  - 「PictureGear」ソフトウェア
  - 「Smart Capture」ソフトウェア

オンラインマニュアルとは

本機の使いかたやソフトウェアの操作説明などをディスプレイ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

その他

❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）

❑ VAIOカルテ（1）

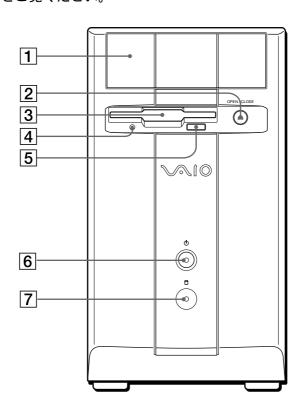
❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）

❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）

❑ その他パンフレット類

各部のなまえ

ここでは、本機の各部のなまえについて紹介します。各部のなまえと働きについて詳しくは、（　）内のページおよび本機オンラインマニュアルの「各部の説明」をご覧ください。
オンラインマニュアルの見かたについて詳しくは、「本機のオンラインマニュアルを見るには」（170ページ）をご覧ください。

前面

1 CD-RW**ドライブ（**239**ページ）**

2 OPEN／CLOSE**ボタン（**239**ページ）**

3 **フロッピーディスクドライブ**

4 **フロッピーディスクドライブアクセスランプ**

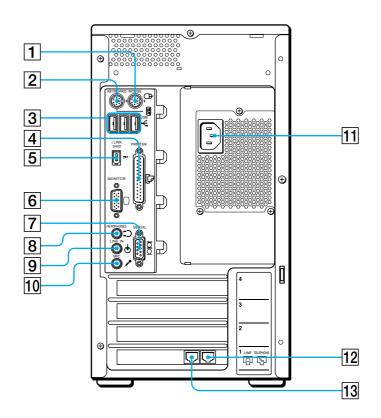
5 **フロッピーディスクイジェクトボタン**

6 ⏻ **（電源）ボタンと電源ランプ（**31**ページ）**

7 ⛁ **ランプ（ハードディスクアクセスランプ）**

後面

1 MOUSE（マウス）コネクタ（26ページ）

2 KEYBOARD（キーボード）コネクタ（26ページ）

3 USBコネクタ

4 PRINTER（プリンタ）コネクタ

5 i.LINK S400コネクタ（6ピン）

6 MONITOR（モニタ）コネクタ（24ページ）

7 SERIAL（シリアル）コネクタ

8 HEADPHONES（ヘッドホン）コネクタ（25ページ）

9 LINE IN（ライン入力）コネクタ

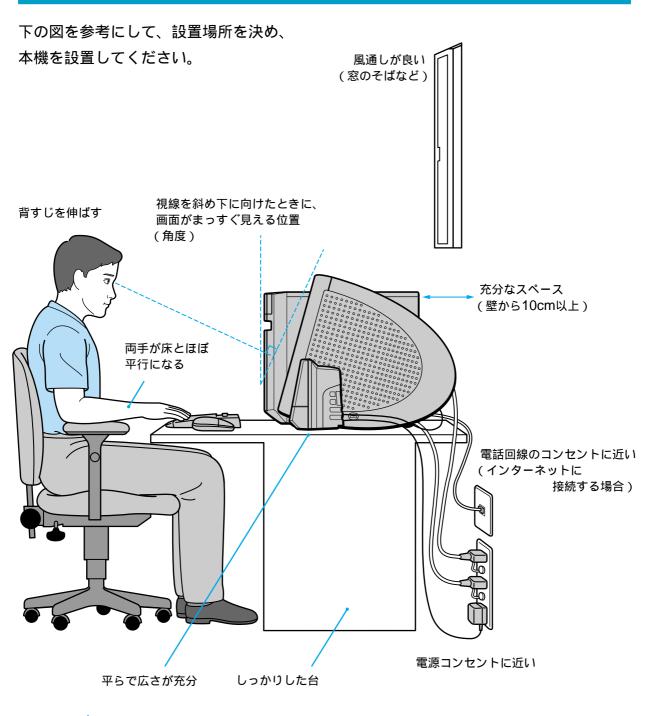
10 MIC（マイクロホン）コネクタ

11 AC INPUT（AC電源入力）プラグ（30ページ）

12 TELEPHONE（電話機）ジャック（27ページ）

13 LINE（電話回線）ジャック（28ページ）

設置する

下の図を参考にして、設置場所を決め、
本機を設置してください。

ちょっと一言

キーボードは立てて置くことができます。
キーボードを立てたときは、パームレストを
キーボードの裏側に折り畳むことができます。
本機を使わないときに場所を取りません。
キーボードにパームレストを取り付けるときは、
「キーボードにパームレストを取り付けるには」
（26ページ）をご覧ください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

❏ **直射日光が当たる場所**

❏ **ほこりが多い場所**

❏ **磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く**

❏ **湿気が多い場所**

❏ **暖房器具の近くなど、温度が高い場所**

❏ **風通しが悪い場所**

設置時のご注意

次のことをお守りください。

本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持つ。

本機を置くときは、衝撃が加わらないように静かに置く。

本機を横置きにしない。

このほかにも、設置の際の安全上の注意事項が8〜13ページに記載されています。そちらもあわせてご覧ください。

接続する

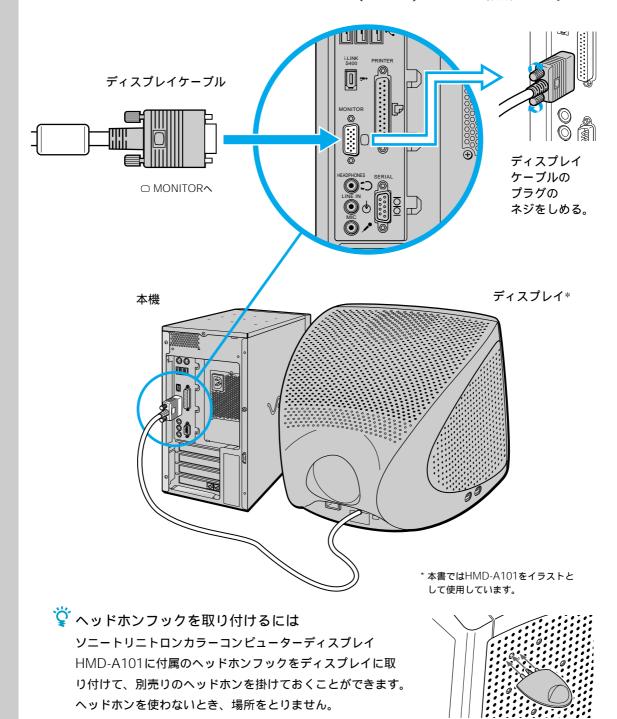
ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード、
電源コードを以下の手順に従って接続します。

1 ディスプレイを接続する。

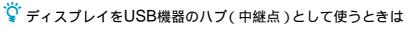
ディスプレイケーブルのプラグをMONITOR（モニタ）コネクタへ接続します。

* 本書ではHMD-A101をイラストと
して使用しています。

ヘッドホンフックを取り付けるには

ソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイ
HMD-A101に付属のヘッドホンフックをディスプレイに取
り付けて、別売りのヘッドホンを掛けておくことができます。
ヘッドホンを使わないとき、場所をとりません。

ご注意

ヘッドホンと付属のアクティブスピーカーは同じHEADPHONESコネクタに接続するため、
同時に使用できません。

ディスプレイをUSB機器のハブ（中継点）として使うときは

付属のディスプレイをUSB機器のハブ（中継点）として使うときは、ディスプレイに付属のUSBケーブルを使ってつなぎます。
詳しくは、本機オンラインマニュアルの「周辺機器を接続する」の「USB機器をつなぐ」をご覧ください。

2 アクティブスピーカーを接続する。

付属のアクティブスピーカーのケーブルのプラグをHEADPHONES（ヘッドホン）コネクタへ接続します。

アクティブスピーカーのケーブル

HEADPHONESへ

MONITOR

HEADPHONES

SERIAL

LINE IN

MIC

本機

アクティブスピーカー

次のページへつづく

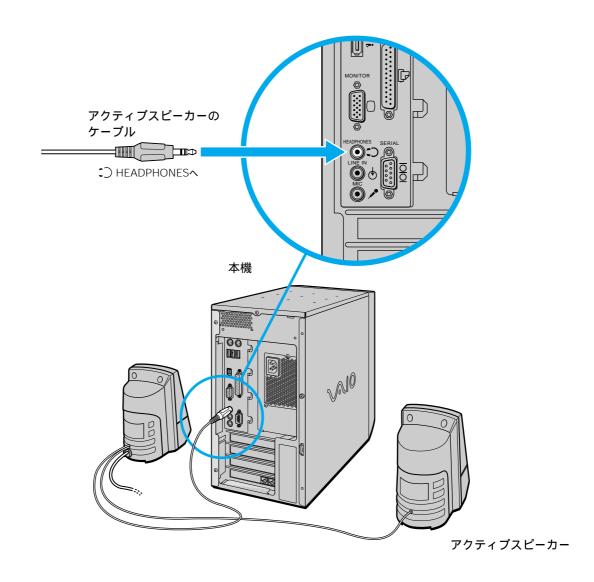
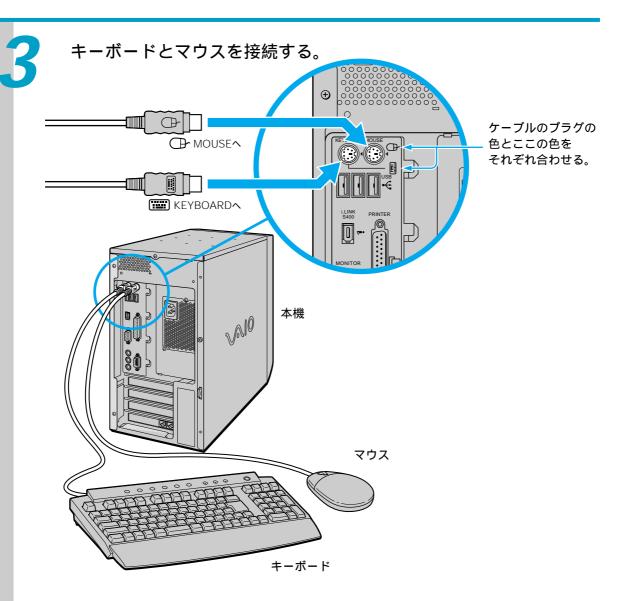
3 キーボードとマウスを接続する。

MOUSEへ

KEYBOARDへ

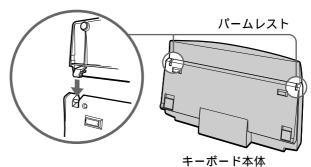
ケーブルのプラグの色とここの色をそれぞれ合わせる。

本機

マウス

キーボード

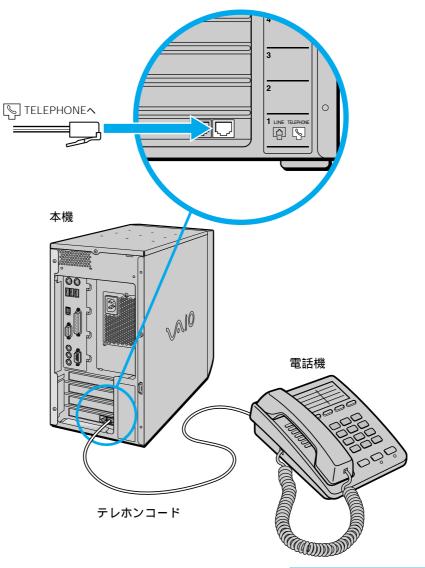
キーボードにパームレストを取り付けるには

パームレストをキーボードに取り付けると、キーボードを使うとき、手首に負担がかからなくなります。

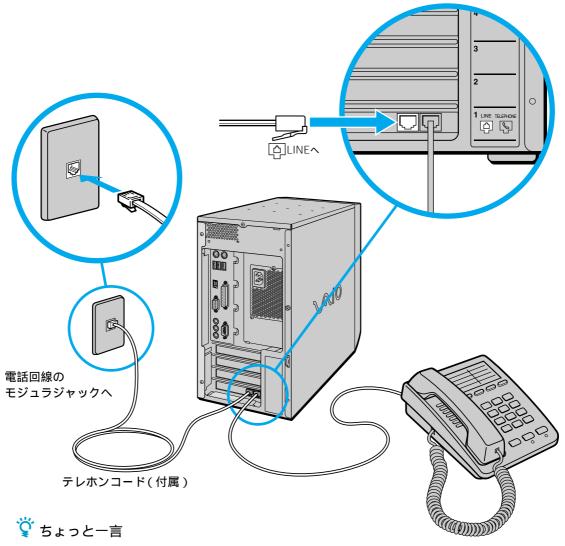
キーボードを立てて、パームレストの左右にあるツメをキーボードの左右にある切り込みにカチッと音がするまで差し込みます。

4 電話回線に接続する。

インターネットに接続するなどデータ通信をするときは、付属のテレホンコードを使って本機を電話回線につなぎます。
インターネットへの接続について詳しくは、「インターネットを始める」（105ページ）をご覧ください。

1 お使いの電話機のテレホンコードを電話回線のモジュラジャックからはずす。

2 1ではずしたテレホンコードを本機のTELEPHONE（テレホン）ジャックにカチッと音がするまで差し込む。

次のページへつづく

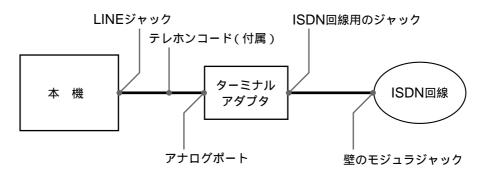
❸ 付属のテレホンコードの一方を本機のLINE（ライン）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込む。

ちょっと一言

電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードに合わないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「電話回線のコンセントの種類」をご覧ください。

ISDN回線につなぐときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するためには、付属のテレホンコードの他に「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

オンラインカスタマー登録やインターネットの接続会社と契約するには

オンラインカスタマー登録したり（94ページ）、電話回線を通じてインターネットの接続会社と契約する（111ページ）ときは、下図のように本機をターミナルアダプタのアナログポートに接続します。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

インターネットに接続してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには

オンラインカスタマー登録やインターネットの接続会社との契約が終了し、実際にインターネットに接続してホームページを見たり、電子メールをやりとりするときは、本機のSERIALコネクタまたはUSBコネクタとターミナルアダプタのデジタルポート（SERIALコネクタやUSBコネクタ）をつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

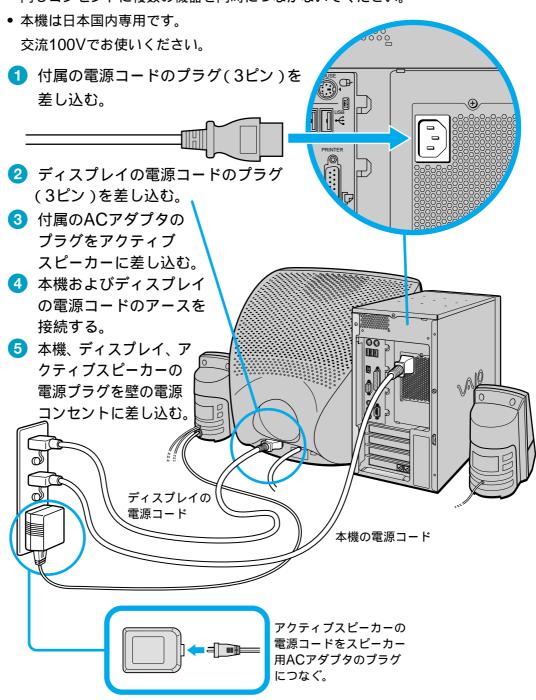
次のページへつづく

5 電源コードを接続する。

本機、ディスプレイ、アクティブスピーカーを電源コンセントに接続します。

ご注意

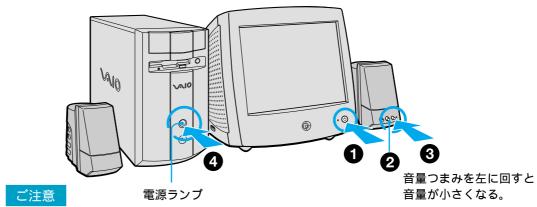
- **同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。**
- **本機は日本国内専用です。**
  交流100Vでお使いください。

1. **付属の電源コードのプラグ（3ピン）を差し込む。**
2. **ディスプレイの電源コードのプラグ（3ピン）を差し込む。**
3. **付属のACアダプタのプラグをアクティブスピーカーに差し込む。**
4. **本機およびディスプレイの電源コードのアースを接続する。**
5. **本機、ディスプレイ、アクティブスピーカーの電源プラグを壁の電源コンセントに差し込む。**

電源を入れる

ディスプレイ、アクティブスピーカー、本機の順に電源を入れる。

1. **ディスプレイの電源スイッチを押す。**
2. **スピーカーの音量つまみで音量を小さくする。**
3. **アクティブスピーカーの電源スイッチを押す。**
4. **本機の ⏻（電源）ボタンを押す。**

   電源が入ると、電源ランプが緑色に点灯します。

ご注意

本機の電源は、必ずディスプレイやアクティブスピーカーの電源を入れてから、最後に入れてください。本機の電源から入れると、「OUT OF SCAN RANGE」とディスプレイに表示され、正しく表示されないことがあります。この場合は、「主なトラブルとその解決方法」の「ディスプレイ」の「画面に「OUT OF SCAN RANGE」と表示される。」（192ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

アクティブスピーカーが適切な音量になっているか確認してください。Windows Meの準備をする（32ページ）ときに、音声での解説が聞けるようになっています。スピーカーの音量はスピーカーの音量つまみで調整します。

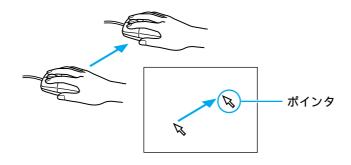
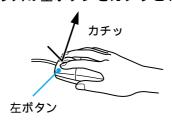
本機の電源を初めて入れる場合は、Windows Meのロゴの画面が表示されたあと、「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、そのまま放置せずに、［はい(Y)］をクリック（32ページ）して本機を再起動してください。再起動後に、Windows Meのロゴの画面が表示され、しばらくすると、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。次ページの「Windows Meを準備する」の手順に従ってWindows Meの準備を行ってください。

Windows Meを準備する

本機をお使いいただくために、最初のステップとしてWindows Meの準備が必要です。Windows Meが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windows Meを使う準備をします。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある 次へ(N) をクリックする。

マウスを動かして「Microsoft Windowsへようこそ」画面右下の 次へ(N) の上まで ⇖(ポインタ)を移動し、マウスの左ボタンをカチッと1回押し、すぐ離します。
これを「クリックする」と言います。
「日本語の入力を練習しましょう」画面が表示されます。

マウスを動かして...

マウスの左ボタンをカチッと1回押し、すぐ離す。

 ちょっと一言

- マウスは机の上など平らな場所に置き、滑らせるように動かします。マウスの動きに合わせて画面上の ⇖(ポインタ)が同じように動きます。マウスを動かしていて机の端まで行ってしまったら、マウスを持ち上げて元の位置に戻して動かします。
- マウスの使いかたについて詳しくは、「マウスの使いかたを練習する」(44ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

操作が途中でわからなくなったときは、画面左下の「マーリン」をクリックするとアニメーションと音声による説明を聞くことができます。

2

次へ(N) をクリックする。

「名前を入力してみましょう」画面が表示されます。

入力方法をすでにご存知の方は、省略(S) をクリックして手順5へ進むこともできます。

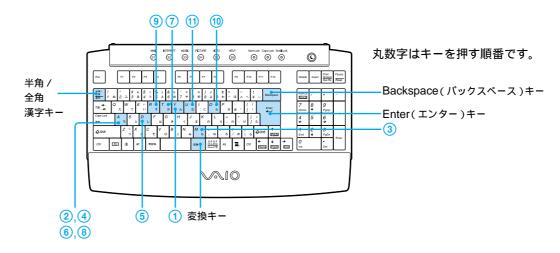
次のページへつづく

3 名前の入力の練習をする。

画面の指示に従って名前を入力する練習をしてみましょう。
「山田太郎」という名前を入力してみます。

1. 名前の入力欄をクリックする。

ここをクリックする。

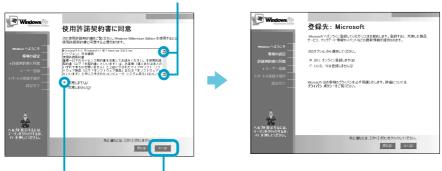
2. 全角文字を入力するため、半角/全角 漢字（半角／全角 漢字）キーを押す。
3. ① Y ん、② A ち、③ M も、④ A ち、⑤ D し、⑥ A ち、⑦ T か、⑧ A ち、⑨ R す、⑩ O ら、⑪ U な の順にキーを押す。
4. 変換（変換）キーを押す。
5. Enter（エンター）キーを押す。

ちょっと一言

文字の入力について詳しくは、「文字の入力を練習する（キーボードの使いかた）」（65ページ）をご覧ください。

4 名前の入力の練習を終えたら、 次へ(N) をクリックする。

「使用許諾契約書に同意」画面が表示されます。

5 画面に現れた内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) をクリックする。

「登録先：Microsoft」画面が表示されます。

ご注意

［同意しません］の ◯ をクリックすると、Windows Meの準備作業は中止され、本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

次のページへつづく

6 「いいえ、今は登録しません」の ◯ をクリックして ◉ にし、次へ(N) をクリックする。

「VAIOカスタマー登録のおすすめ」画面が表示されます。
VAIOカスタマー登録について詳しくは、「カスタマー登録する」（94ページ）をご覧ください。

❶ ここをクリックする。
◯ が ◉ になる。

❷ ここをクリックする。

ちょっと一言

「はい、オンライン登録します」を選んで 次へ(N) をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、ダイヤルするには本機を電話回線に接続しておく必要があります。
接続のしかたについて詳しくは、「接続する」（24ページ）をご覧ください。

7 次へ(N) をクリックする。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。
インターネット接続サービスについて詳しくは、「インターネットを始める」（105ページ）をご覧ください。

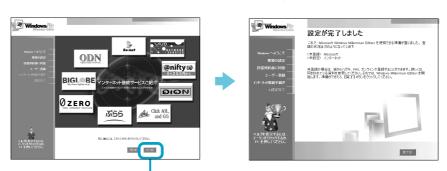
ここをクリックする。

8

次へ(N) をクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ここをクリックする。

9

完了(F) をクリックする。

Windows Meが起動します。

ここをクリックする。

10

ディスプレイ画面左下の スタート をクリックし、[プログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]、[エンターテイメント]、[Windows Millennium Edition プレビュー]の順にクリックする。

Windows Meの紹介の映像が始まります。

ちょっと一言

Windows Meの紹介の映像は必ず見てください。Windows Meの紹介の映像の長さは2〜3分間です。

11

映像が終わったら、画面右上の 終了 をクリックする。

Windows Meの紹介の映像を見終わったら、「電源を切る」(40ページ)の手順に従っていったん電源を切ってから、本機の ⏻(電源)ボタンを押し、再度電源を入れてください。

次のページへつづく

Windows Meを準備する（つづき）

ご注意

Windows Meの紹介の映像を見ないで、付属の「DVgate」ソフトウェアなどを使うと、操作中などにWindows Meの紹介の映像を見ることを促す画面が表示され、本機が正しく動作しないことがあります。

これで、「こんなことができます」（14ページ）で紹介した機能が使えるようになりました。

ご注意

ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、さらにインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」（105ページ）をご覧ください。

ご注意

本機に付属のリカバリ CD-ROMに入っているOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

OS（Operating System）とは

コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。本機のOSはWindows Millennium Edition（Me）です。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。コンピュータウイルスに侵入されると、意味不明なメッセージがディスプレイ画面上に表示されたり、ファイルが勝手に消去されたりしてしまいます。コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。このコンピュータウイルスを検査／除去するソフトウェアとして、本機には「VirusScan」ソフトウェアが付属しています。本機をコンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。なお、本機には「VirusScan」ソフトウェアはあらかじめインストールされておりません。「コンピュータウイルスについて」（232ページ）の中の手順に従って「VirusScan」ソフトウェアをインストールしてください。

40ページからは、お好みに合わせて操作してください。

- ❑ **電源を切りたい（40ページ）**
- ❑ **コンピュータの基本操作を練習したい（42ページ）**
- ❑ **カスタマー登録したい（94ページ）**
- ❑ **インターネットに接続したい（105ページ）**

以下のことがしたいときは

本機オンラインマニュアルをご覧ください。使いかたについて詳しくは、「本機のオンラインマニュアルを見るには」（170ページ）をご覧ください。

- ❑ CD-ROMを使いたい
- ❑ CD-RW／CD-Rにデータを記録したい
- ❑ フロッピーディスクを使いたい
- ❑ 動画を取り込んで加工したい
- ❑ 静止画を取り込んで活用したい
- ❑ 音楽CDやビデオCDを見たい
- ❑ プリンタなどの機器をつなぎたい

やりたいことの操作や困ったときの解決方法を知りたいときは

本機には、「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」という検索ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアを使うと、自分のやりたいことやトラブルの内容を入力するだけで、その操作方法や解決方法を知ることができます。

「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」ソフトウェアの使いかた」（182ページ）をご覧ください。

電源を切る

本機を使う準備が終わったところで、いったん電源を切ってみます。

ご注意

⏻（電源）ボタンを押して電源を切らないでください。必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因になることがあります。

1

ディスプレイ画面左下の スタート をクリックし、表示されるメニューの［Windows の終了］をクリックする。

「Windows の終了」の画面が表示されます。

2

▼ をクリックして、一覧の中から「終了」を選び、 OK をクリックする。

しばらくすると、自動的に本機の電源が切れて、本機の電源ランプが消えます。

ちょっと一言

ソニー製のコンピュータディスプレイをお使いのときは、手順2で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。

3

ディスプレイの電源スイッチを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

4

アクティブスピーカーの電源スイッチを押す。

アクティブスピーカーの電源が切れます。
これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。
さらにいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび本機オンラインマニュアルをご覧ください。

コンピュータの基本操作を練習する

この章では、本機を使うための基本的な操作を説明します。

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき

本機の電源を入れた後、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。
「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

■デスクトップアイコン

① マイ ドキュメント

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイドキュメントは、マイコンピュータの中にあるC:ドライブの中のものと同じです。

② マイ コンピュータ

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

③ マイ ネットワーク

コンピュータどうしをつなぐネットワークを利用している場合、他のコンピュータと通信するときに使います。

④ ごみ箱

いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱の中に残っています。ごみ箱について詳しくは、「ファイルを削除する」(89ページ)をご覧ください。

⑤ Internet Explorer

インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」(105ページ)をご覧ください。

⑥ インターネットに接続

インターネット接続に必要な設定を行います。詳しくは、「インターネットを始める」(105ページ)をご覧ください。

⑦ オンラインサービス

インターネットに接続するための手続きを画面上で行うときに使います。

⑧ ブリーフケース

他のコンピュータに文書や画像などを移動させるときに使います。

⑨ Outlook Express

電子メールをやりとりするときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」(105ページ)をご覧ください。

⑩ PCV-J15 マニュアル

本機オンラインマニュアルを表示します。使いかたについて詳しくは、「本機のオンラインマニュアルを見るには」(170ページ)をご覧ください。

⑪ CyberSupport 2.5 for VAIO

やりたいことの操作や困ったときの解決方法を簡単に調べられるソフトウェアです。使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

⑫ できるWindows for VAIO

Windowsの使いかたを説明しています。

⑬ 各ソフトウェアのショートカット類

左隅に が付いたアイコンが各種あります。これらは簡単にソフトウェアを起動するためにデスクトップ画面上に置かれたものです。

⑭タスクバー

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく4つの領域があり、それぞれ[スタート]ボタン、クイック起動バー、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windows Meに関連する機能を表示しておくタスクトレイに分かれます。

[スタート]ボタン

ここをマウスでクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

クイック起動バー

ここに表示されているアイコンをクリックすると、登録されているソフトウェアが起動します。

ウィンドウのボタン表示

使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

タスクトレイ

本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindows Meの機能がここに表示されます。日本語入力システム(MS-IMEツールバー)や時計表示などがあります。

ちょっと一言

アイコンとは

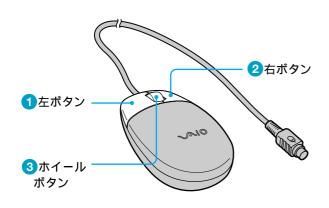
画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

ウィンドウとは

デスクトップ画面上にある「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」のアイコンをマウスで2回クリック(ダブルクリックと言います)したとき、デスクトップ画面に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

マウスの使いかたを練習する

本機を操作するときは、キーボードのほかにマウスを使います。マウスのはたらきを
理解して、その使いかたをマスターすることが、本機を使いこなす第一歩になります。

マウスの各部のなまえとはたらき

❶ **左ボタン**
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。
マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

❷ **右ボタン**
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

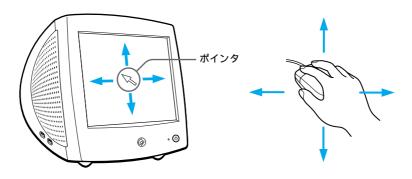
❸ **ホイールボタン**
ウィンドウを移動するときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
ホイールボタンについて詳しくは、付属の本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」の「マウスを使う」の「ホイールボタンの使いかた」をご覧ください。

マウスの持ちかた

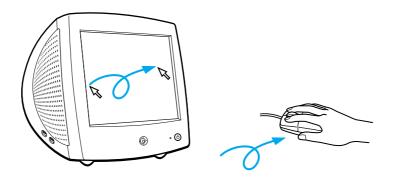
マウスは強く握ったり、押しつけたりせず、手のひらを軽く乗せるようにします。また、
ボタンをクリックしやすいように、指先をボタンに乗せてください。

ここからは1～7の手順に従ってマウスの使いかたを練習してみましょう。

1 マウスを動かす

マウスを動かすと、その動きに合わせてデスクトップ画面上の（ポインタ）も同じ方向に移動します。

ポインタとは

マウスを動かすと、画面上に表示されている が動きます。この矢印を「ポインタ」と言います。ポインタを目的の位置まで動かして左ボタン、右ボタン、またはホイールボタンを押すことで、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。

机の上など平らな場所に置き、滑らせるように動かします。マウスを動かすときは、腕全体を使うようにします。

大きく動かすときは

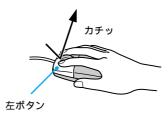
マウスを動かしていると、机の端まで行ってしまうことがあります。このようなときは、マウスを持ち上げて元の位置に戻し、また同じ方向に動かします。マウスを持ち上げている間は、ポインタは動きません。

次のページへつづく

マウスの使いかたを練習する（つづき）

2 クリックする

左ボタンをカチッと1回押してすぐ離すことです。

スタート などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。

ためしに、スタート をクリックしてみましょう。

1 **マウスを動かして、（ポインタ）をデスクトップ画面左下の スタート の上に合わせる。**

スタート

2 **マウスの左ボタンを押す（クリックする）。**

「スタート」メニューが表示されます。

3 ポイントする

ポインタを希望の位置に合わせることです。メニューの項目を選ぶときなどに使います。
ためしに スタート からWindows Meのヘルプをポイントしてみましょう。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

2 マウスを上に動かして、（ポインタ）をヘルプの上に動かす。

3 「ヘルプ」の上でマウスの左ボタンを押す（クリックする）。

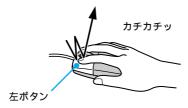
Windows Meの「ヘルプとサポート」が表示されます。

次のページへつづく

ちょっと一言

「ヘルプとサポート」の画面を閉じるには、画面右上の ✕（［閉じる］ボタン）をクリックします。

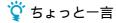
4 ダブルクリックする

左ボタンをカチカチッと2回すばやく押してすぐ離すことです。
ソフトウェアを実行したり、作成した文書を開くときなどに使います。

ためしに （マイコンピュータ）をダブルクリックしてみましょう。

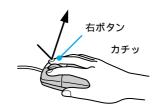
1 マウスを動かして （ポインタ）を （マイコンピュータ）の上に合わせる。

2 マウスの左ボタンを2回すばやく押す（ダブルクリックする）。

「マイコンピュータ」の内容が表示されます。

ちょっと一言

「マイコンピュータ」のウィンドウを閉じるには、画面右上の ✕（[閉じる] ボタン）をクリックします。

5 右クリックする

右ボタンを1回押してすぐ離すことです。押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のショートカットメニューが表示されます。

ためしに（マイドキュメント）のウィンドウを右クリックしてみましょう。

1 **マウスを動かして、（ポインタ）を（マイドキュメント）の上に合わせる。**

次のページへつづく

2

マウスの左ボタンを2回すばやく押す（ダブルクリックする）。

「マイドキュメント」ウィンドウが表示されます。

3

マウスを動かして、（ポインタ）を（マイドキュメント）のウィンドウのどこかに合わせる。

4

マウスの右ボタンを押す（右クリックする）。

ショートカットメニューが表示されます。

ちょっと一言

表示されたメニューのことを「ショートカットメニュー」と言います。

ショートカットメニューは、メニュー以外のデスクトップ画面上をクリックすると消えます。

5

ショートカットメニューから［新規作成］に ↖（ポインタ）を合わせる。

さらにメニューが横にならびます。このメニューを「サブメニュー」と言います。

6

サブメニューの［フォルダ］に ↖（ポインタ）を合わせてマウスの左ボタンを押す（クリックする）。

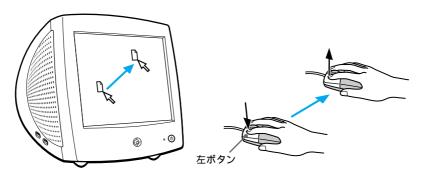
新しいフォルダができます。

ちょっと一言

自分で作成した文書や画像を保存する場所を「フォルダ」と言います。目的に合わせて、フォルダには名前を付けることができます。ここではそのまま「新しいフォルダ」にしておきます。

次のページへつづく

6 ドラッグする

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かしてからボタンを離すことです。
文書や画像を移動するときなどに使います。

ためしに手順5で作った「新しいフォルダ」をドラッグしてみましょう。

1

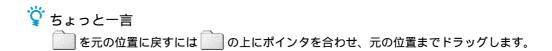
（新しいフォルダ）に（ポインタ）を合わせて、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを移動する（ドラッグする）。

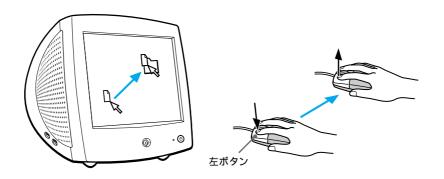
「新しいフォルダ」が移動します。

2

移動したい位置まできたら、マウスのボタンを離す。

ちょっと一言

を元の位置に戻すにはの上にポインタを合わせ、元の位置までドラッグします。

7 ドラッグアンドドロップする

文書や画像などをドラッグして、フォルダやソフトウェアのアイコンやウィンドウなどの上でマウスのボタンを離すことです。
マウスで選んだ文字や画像を他の文書に追加したり、文書などをその文書などを作成したソフトウェアのアイコンに重ね合わせてソフトウェアを起動し、内容を見たりします。

ためしに手順6で使った「新しいフォルダ」をドラッグアンドドロップしてみましょう。

（新しいフォルダ）を （ごみ箱）に移動する（ドラッグアンドドロップする）。

「新しいフォルダ」がごみ箱に移動し、アイコンが から に変わります。
（ごみ箱の中に紙くずが入ります。）

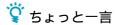
ちょっと一言

「マイドキュメント」のウィンドウを閉じるには、ウィンドウ右上の ×（［閉じる］ボタン）をクリックします。

これでマウスの使いかたの練習は終わりです。使えるようになるまで何度も練習し、マウスに慣れましょう。

次のページへつづく

ウィンドウの基本操作を練習する

「ウィンドウ」とは、Windows Meでさまざまな操作をするときの画面のことです。
ここでは、ウィンドウの基本操作を練習しましょう。

「ウィンドウ」は日本語で「窓」の意味です。画面の形が窓に似ています。

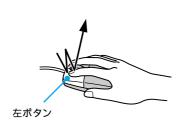
ここからは1～7の手順に従って、ウィンドウの基本操作を練習してみましょう。

1 ウィンドウを開く

ためしに（マイコンピュータ）のウィンドウを開いてみましょう。

1 **マウスを動かして、ポインタを（マイコンピュータ）の上に合わせる。**

2 **マウスの左ボタンをダブルクリックする。**

「マイコンピュータ」ウィンドウが開きます。

ウィンドウの各部のなまえとはたらき

（マイコンピュータ）をダブルクリックするとウィンドウが開きます。中央にはマイコンピュータの中にある各種の装置などのフォルダがあります。
ここでは、ウィンドウの各部のなまえとはたらきを覚えましょう。

① タイトルバー

ウィンドウのなまえを表示します。ここでは （マイコンピュータ）を選択したので「マイコンピュータ」と表示されます。

② メニューバー

ウィンドウの中にある各装置を利用したり、内容を変更したりするときに使う機能が一列になって配置されます。

③ ツールバー

メニューバーと同様のはたらきをしますが、特によく使う機能がアイコン表示されます。

④ アドレスバー

各種のフォルダや文書などは、どこにあるかによって住所に相当する位置づけがされています。現在開いているウィンドウがコンピュータのどこにあるかを示します。

⑤ スクロールバー

ウィンドウの中にたくさんのフォルダなどがあって一度に表示できない場合に表示されます。このバーにポインタを合わせて上下に動かすか、上下の ▲ ▼ をクリックすると、隠れているフォルダなどを表示できます。

次のページへつづく

⑥ ステータスバー

タイトルバーの機能に加え、ウィンドウの中にあるフォルダや文書などがいくつあるかなど、ウィンドウ内の状況を示します。

複数のウィンドウを開くには

ウィンドウは2つ以上同時に開くこともできます。ウィンドウを複数開くと、このあとに練習する、ファイルを移動したり、コピーするといった操作をするときに便利です。

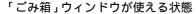
ここでは「マイコンピュータ」ウィンドウのほかに「ごみ箱」ウィンドウを開いてみましょう。

（ごみ箱）をダブルクリックする。

「ごみ箱」ウィンドウが表示されます。

複数のウィンドウを切り替えるときは

使いたいウィンドウを最前面に表示させます。マウスを動かし、タイトルバーなど、切り替えたいウィンドウのいずれかの部分をクリックします。

この部分のどこかをクリックする。

「ごみ箱」ウィンドウが使える状態

「マイコンピュータ」ウィンドウが使える状態

ちょっと一言

最前面に表示されているウィンドウは、タイトルバーが青い色になります。この最前面に表示されているウィンドウのことを「アクティブなウィンドウ」と言います。

タスクバーを使って複数のウィンドウを切り替えるときは

マウスを動かし、タスクバーに表示されているウィンドウのボタンの中から、切り替えたいウィンドウのボタンにポインタを合わせ、クリックします。

上の「マイコンピュータ」ウィンドウが使える状態になります。

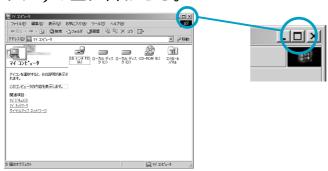
ちょっと一言

タスクバーに表示されているボタンをクリックすることは、デスクトップ画面上で完全に隠れて見えないウィンドウを最前面に出すときに便利です。

2 *ウィンドウを最大化する*

ウィンドウをデスクトップ画面いっぱいに広げて表示させることです。
ためしに手順1で開いた「マイコンピュータ」ウィンドウを最大化してみましょう。

1 **マウスを動かして、ポインタをウィンドウ右上の □（[最大化] ボタン）の上に合わせる。**

次のページへつづく

2

（[最大化] ボタン）をクリックする。

「マイコンピュータ」ウィンドウがデスクトップ画面いっぱいに広がって表示されます。

このとき、（[最大化] ボタン）が になります。

最大化したウィンドウを元のサイズに戻すには

1. **マウスを動かして、ポインタをウィンドウ右上の （[元のサイズに戻す] ボタン）の上に合わせる。**
2. **（[元のサイズに戻す] ボタン）をクリックする。**

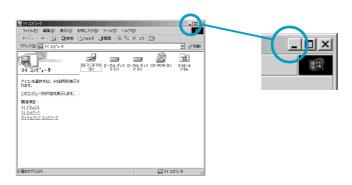
   「マイコンピュータ」ウィンドウが、最大化する前のサイズに戻ります。

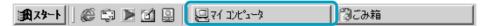
3 ウィンドウを最小化する

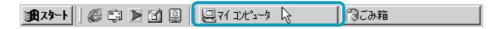
ウィンドウをデスクトップ画面下のタスクバーに収納することです。
ためしに手順1で開いた「マイコンピュータ」ウィンドウを最小化してみましょう。

1

マウスを動かして、ポインタをウィンドウ右上の ［最小化］ボタン）の上に合わせる。

2

（［最小化］ボタン）をクリックする。

「マイコンピュータ」ウィンドウが最小化され、タスクバーにボタンとして表示されます。

最小化したウィンドウを元に戻すには

① **マウスを動かして、タスクバーの中にあるボタンの上に合わせる。**

② **ボタンをクリックする。**

「マイコンピュータ」ウィンドウが開いて、最小化する前のサイズに戻ります。

次のページへつづく

ウィンドウの基本操作を練習する（つづき）

「閉じる」と「最小化」の違い

ウィンドウを閉じる（64ページ）と、そのウィンドウはデスクトップ画面から消えます。ウィンドウを最小化すると、そのウィンドウはデスクトップ画面からは見えなくなりますが、タスクバーにボタンとして残ります。ウィンドウを一時的に見えなくするときは、「最小化」の方が便利です。

ちょっと一言

デスクトップ画面左下の （デスクトップの表示）をクリックすると、すべてのウィンドウを最小化できます。さらにもう一度 （デスクトップの表示）をクリックすると、最小化したウィンドウが元のサイズに戻ります。

4 *ウィンドウを動かす*

ウィンドウをデスクトップ画面上で自由に移動できます。ウィンドウを開いたときに、ウィンドウの下に隠れてしまったアイコンをクリックしたいときなどにはウィンドウを動かします。

ためしに手順1で開いた「マイコンピュータ」ウィンドウを動かしてみましょう。

1 マウスを動かして、ポインタをタイトルバーの上に合わせる。

このいずれかの場所にポインタを合わせる。

ちょっと一言

タイトルバーの中央付近の、文字や絵のない部分にポインタを合わせてください。タイトルバーの右端や左端をクリックすると、ウィンドウが移動しないことがあります。

2 マウスの左ボタンを押したまま、マウスを移動する（ドラッグする）。

「マイコンピュータ」ウィンドウが移動します。

3 移動したい位置まで来たら、マウスのボタンを離す。

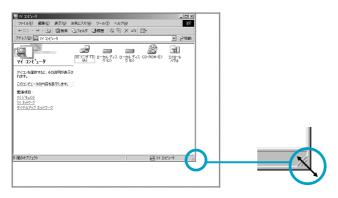
5 ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウのサイズが小さかったり、大きかったりするときは、ウィンドウのサイズを変えられます。

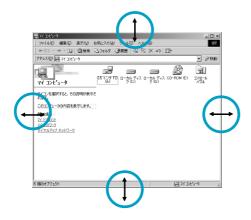
ためしに手順1で開いた「マイコンピュータ」ウィンドウのサイズを変えてみましょう。

1 マウスを動かして、ポインタをウィンドウの角に合わせる。

ポインタの形が ↘ に変わります。

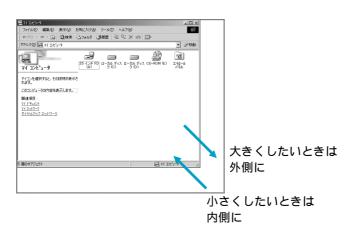
次のページへつづく

ウィンドウの基本操作を練習する（つづき）

ちょっと一言

ウィンドウの大きさは角以外にも、4つの辺をドラッグすることで変えられます。

ご注意

ウィンドウが最大化されて表示されているときは、ウィンドウのサイズを変更することはできません。

2 マウスの左ボタンを押したまま、マウスを移動する（ドラッグする）。

ウィンドウのサイズが変わります。
サイズを大きくしたいときにはウィンドウの外側に、小さくしたいときにはウィンドウの内側にドラッグします。

3 希望の大きさになったらマウスのボタンを離す。

6 見えない部分を表示する（スクロールする）

ウィンドウのサイズが小さいとき、見えない部分をマウスを使って表示できます。
これを「スクロールする」と言います。
ためしに手順1で開いた「マイコンピュータ」ウィンドウの見えない部分をスクロールして表示してみましょう。

1

ウィンドウの右側にスクロールバーが表示されていないときは、表示されるまで、ウィンドウを小さくする。

ウィンドウの右側にスクロールバーが表示されます。

2

マウスを動かして、ポインタをスクロールバーの ▲ または ▼ の上に合わせる。

ちょっと一言

ウィンドウの内容がすべて表示されているときは、スクロールバーは表示されません。また、ウィンドウの下側にスクロールバーが表示されることもあります。

3

マウスの左ボタンを押したままにする。

▲ を押すとウィンドウの上の方に隠れている部分が表示されます。
▼ を押すとウィンドウの下の方に隠れている部分が表示されます。

4

マウスのボタンを離す。

スクロールが止まります。

ちょっと一言

マウスのホイールボタンを使ってスクロールすることもできます。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「マウスを使う」の「ホイールボタンの使いかた」をご覧ください。

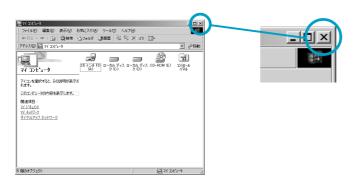
ウィンドウの基本操作を練習する（つづき）

7 ウィンドウを閉じる

最後に「マイコンピュータ」と「ごみ箱」ウィンドウを閉じてみましょう。

1

マウスを動かして、ポインタを「マイコンピュータ」ウィンドウの ×（[閉じる] ボタン）の上に合わせる。

2

×（[閉じる] ボタン）をクリックする。

「マイコンピュータ」ウィンドウが閉じます。
「ごみ箱」ウィンドウも同じ操作を行い、ウィンドウを閉じます。

これでウィンドウの基本操作の練習は終わりです。ウィンドウは本機に付属のソフトウェアなどにもたくさん使われています。何度も練習してソフトウェアを楽に使いこなせるようになりましょう。

文字の入力を練習する（キーボードの使いかた）

ここでは、文字の入力のしかたについて説明します。文字を入力するにはキーボードを使います。本機に付属している「ワードパッド」ソフトウェアを使って、文字入力を練習してみましょう。

ちょっと一言

キーボード上の特殊なキーのなまえとはたらきについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「各部の説明」の「キーボード」をご覧ください。

1 「ワードパッド」ソフトウェアを起動する

まず、「ワードパッド」ソフトウェアを起動します。

1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

2

表示された「スタート」メニューの中の［プログラム］にポインタを合わせる。

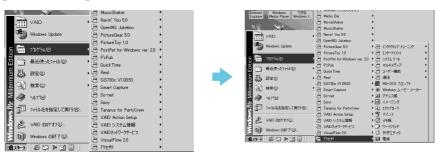
「スタート」メニューの右側に新しいメニューが表示されます。

ちょっと一言

「スタート」メニューに表示される項目で［プログラム］のように右端に▶の付いたものは、ポインタを合わせると右側に新しいメニューが表示されます。

次のページへつづく

3 ［プログラム］の右側に表示されたメニューの中の［アクセサリ］にポインタを合わせる。

［アクセサリ］の右側にも新しいメニューが表示されます。

4 ［アクセサリ］の右側に表示されたメニューの中にある［ワードパッド］にポインタを合わせ、クリックする。

「ワードパッド」ソフトウェアが起動し、デスクトップ画面に「ワードパッド」ソフトウェアの画面が表示されます。

これで文字を入力する準備が整いました。

ちょっと一言

「ワードパッド」ソフトウェアの画面は使いやすいサイズに調節してください。（61ページ）

2 入力のしかたを選ぶ

キーボード上の各キーにはアルファベットやひらがなが印刷されていますが、ただキーを押しても、漢字やカタカナは入力できません。
入力したい文字に応じて、デスクトップ画面右下に表示されている「MS-IMEツールバー」を使って、入力文字を切り替える必要があります。

MS-IMEツールバーが表示されていないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をクリックします。表示されたMS-IMEメニューの中の［ツールバーを表示］をクリックします。
MS-IMEツールバーについて詳しくは、付属の「Microsoft® Windows® Millennium Edition」クイックスタートガイドをご覧ください。

MS-IMEツールバー

ここでは例として、カタカナでの入力に切り替えてみましょう。

1 デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーの［␣A］にポインタを合わせ、クリックする。

文字入力選択メニューが表示されます。

2 文字入力選択メニューの中の［全角カタカナ］にポインタを合わせ、クリックする。

ツールバーの表示が［␣A］から［カ］に変わり、カタカナを入力できるようになります。

［␣A］から［カ］に変わる。

コンピュータの基本操作を練習する

次のページへつづく

文字の入力を練習する（つづき）

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。
お好みに合わせて、入力方法を選んでください。
なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

❑ ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。
1文字を入力するために2つまたは3つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどうですが、英文タイプライターに慣れている方はこちらが便利です。

❑ かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。
1文字につき1つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50音それぞれのキーの配置を覚える必要があります。

かな入力とローマ字入力を切り替えるには

MS-IMEツールバーの［KANA］をクリックすると、ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

3 文字を入力する

次に、具体的に文字の入力のしかたを練習します。
「世界中にひろがったソニーVAIO PCV-J15」という言葉を例に漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字の順に入力していきます。

1

「世界中に」と入力する。（漢字入力）

❶ MS-IMEのツールバーの［␣A］をクリックして、［ひらがな］をクリックする。

ツールバーの表示が［あ］になり、ひらがなが入力できる状態になります。

❷ 「世界中に」の読みを入力する。

ローマ字入力の場合

① S と、② E い、③ K の、④ A ち、⑤ I に、⑥ J ま、⑦ U な、⑧ U な、⑨ N み、⑩ I に の順にキーを押します。

次のページへつづく

かな入力の場合

①［P せ］、②［T か］、③［E い］、④［D し］、⑤［@ ゛］（濁点）、⑥［(8 ゆ］［Shift］（シフトキーを押しながら［(8 ゆ］を押します）、⑦［$ 4 う］、⑧［I に］の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソル（画面上で点滅している「｜」のこと）がローマ字入力、かな入力とも入力位置に動きます。

3 ［　　］**（スペース）キーを押す。**

入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。間違った漢字が表示されたときは、正しい漢字が表示されるまで［　　］（スペース）キーを押します。

ちょっと一言

「き」など同音異義の漢字がたくさんある場合は、変換候補が表示されるまで［　　］（スペース）キーを押し続けます。

❹ Enter（エンター）キーを押す。

変換が確定します。

間違って入力したときは

次のキーを使って修正します。

Backspace **（バックスペース）キー**：カーソルの直前の1字を消し、カーソルの位置が戻ります。

Delete **（デリート）キー**：カーソルのある位置の1字を消します。

Esc **（エスケープ）キー**：確定していない文字をすべて消します。

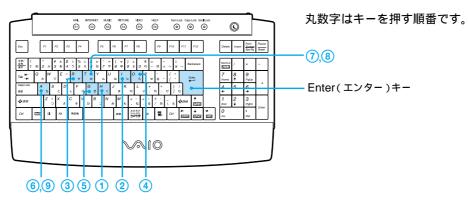
2 「ひろがった」と入力する。（ひらがな入力）

❶ 「ひろがった」の読みを入力する。

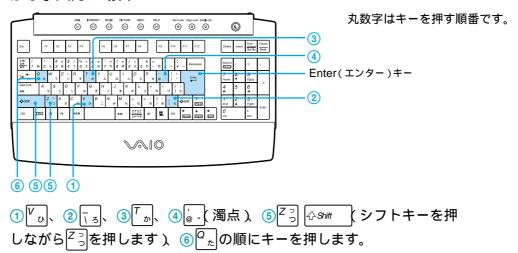
ローマ字入力の場合

① H く、② I に、③ R す、④ O ら、⑤ G き、⑥ A ち、⑦ T か、⑧ T か、⑨ A ち

の順にキーを押します。

次のページへつづく

ちょっと一言

小さい「っ」を入力するときは、「かった」のように次の文字が「た」であれば［T か］キーを2回押します。

かな字入力の場合

①［V ひ］、②［ー ろ］、③［T か］、④［@ ゛］（濁点）、⑤［Z っ］［Shift］（シフトキーを押しながら［Z っ］を押します）、⑥［Q た］の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

❷ ［Enter］（エンター）キーを押す。

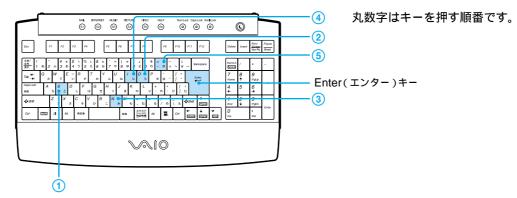
変換する必要がないので、［　　］（スペース）キーを押す必要はありません。

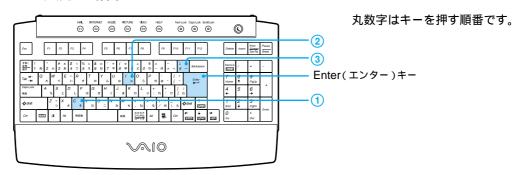
3 「ソニー」と入力する。（カタカナ入力）

❶ MS-IMEのツールバーの［あ］をクリックして、［全角カタカナ］をクリックする。

ツールバーの表示が［カ］になり、カタカナが入力できる状態になります。

❷ 「ソニー」の読みを入力する。

ローマ字入力の場合

①S と、②O ら、③N み、④I に、⑤= ほ（ハイフン）の順にキーを押します。

かな入力の場合

①C そ、②I に、③¥ の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

次のページへつづく

❸ Enter（エンター）キーを押す。

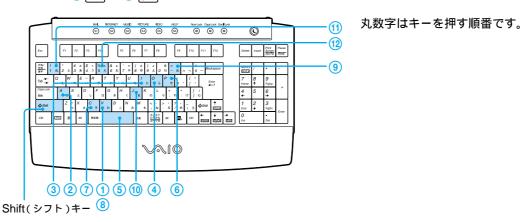
変換する必要がないので、［　　］（スペース）キーを押す必要はありません。

4 「VAIO PCV-J15」と入力する。（アルファベットと数字の入力）

❶ MS-IMEのツールバーの［カ］をクリックして、［直接入力］をクリックする。

ツールバーの表示が［␣A］になり、アルファベットが入力できる状態になります。

❷ Shift（シフト）キーを押しながら①V ひ、②A ち、③I に、④O らの順にキーを押し、次に⑤［　　］（スペース）のみを押す。再びShift（シフト）キーを押しながら⑥P せ、⑦C そ、⑧V ひの順にキーを押し、⑨－ ほキーを押す。もう一度Shift（シフト）キーを押しながら⑩J まを押し、最後に⑪1 ぬ、⑫5 えの順にキーを押す。

丸数字はキーを押す順番です。

変換する必要がないので、[ ]（スペース）キーを押す必要はありません。

ちょっと一言

アルファベットの小文字や数字を入力するときは、[Shift]（シフト）キーを押す必要はありません。

これで「世界中にひろがったソニーVAIO PCV-J15」と入力できました。

キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどについて詳しくは、付属の「Microsoft® Windows® Millennium Edition」クイックスタートガイドまたはMS-IMEのヘルプをご覧ください。

MS-IMEのヘルプを見るには

1. **MS-IMEツールバーの右にある をクリックする。**

   メニューが表示されます。

MS-IMEツールバー

2. **［目次とキーワード］をクリックする。**

   「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」画面が表示されます。

次のページへつづく

❸ 左側の「目次」の一覧から見たい項目をダブルクリックする。

さらに詳しい項目が表示されます。

❹ 見たい項目をクリックする。

参照したい項目が右側に表示されます。

ちょっと一言

「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」画面を閉じるには、画面右上の ＜戻る(B) （［閉じる］ボタン）をクリックします。

「～」や「~」を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、MS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで（69ページ）、ひらがなで「から」と入力し、「～」が選ばれるまで スペースキーを押すか、Shift（シフト）キーを押しながら ~^ キーを押します。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」（チルダ）を入力するには、MS-IMEツールバーで「直接入力」（74ページ）または「半角英数」を選び、Shift（シフト）キーを押しながら ~^ キーを押します。

4 作成した文書を保存する

「3文字を入力する」で作成した文書を保存してみましょう。

1 「ワードパッド」のツールバーの（上書き保存）をクリックする。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

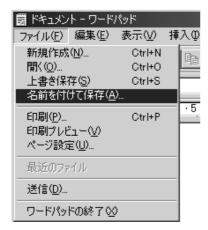
2 作成した文書に名前（ファイル名）をつける。

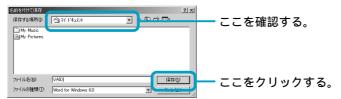
ファイル名の部分は「ドキュメント」の文字が反転表示されています。
ここでは「VAIO」と名前をつけて保存してみます。
文字が反転した状態のまま「VAIO」と入力します。

文字の入力のしかたについては、「3文字を入力する」（69ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

一度名前を付けると、「名前を付けて保存」ウィンドウは表示されず、そのまま上書きされて保存されます。
名前を変えて保存したいときは「ワードパッド」のウィンドウ上部の［ファイル］をクリックし、表示されるメニューから［名前を付けて保存］をクリックします。

次のページへつづく

3 保存場所を確認して 保存(S) をクリックする。

作成した文書が保存されます。
このように保存された文書や画像を「ファイル」と言います。

上の例では、「VAIO」ファイルは「マイドキュメント」に保存されました。このファイルをもう一度見るときはデスクトップ画面上の （マイドキュメント）をダブルクリックし、表示されたウィンドウの中から「VAIO」ファイルをダブルクリックします。

ちょっと一言

保存先は本機の他の場所やフロッピーディスクなどに変更することもできます。
フロッピーディスクについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の項目をご覧ください。

5 「ワードパッド」ソフトウェアを終了する

最後に「ワードパッド」ソフトウェアを終了します。

1

[ファイル] にポインタを合わせ、クリックする。

ファイルメニューが表示されます。

2

[ワードパッドの終了] にポインタを合わせ、クリックする。

「ワードパッド」ソフトウェアが終了します。

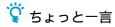
ちょっと一言

ウィンドウ右上にある ☒ ([閉じる] ボタン) をクリックしても終了できます。

「ワードパッド」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「ワードパッド」のヘルプをご覧ください。
「ワードパッド」のウィンドウ上部の [ヘルプ] をクリックし、表示されるメニューから [トピックの検索] をクリックすると「ワードパッド」のヘルプが表示されます。

ファイルの操作を練習する

ここでは、「文字の入力を練習する」の手順4で保存したファイルを、さまざまに操作する練習をしましょう。

ちょっと一言

「ワードパッド」ソフトウェアなどで作成したファイルは、特に指定しない限り、（マイドキュメント）に保存されます。それぞれのファイルは のようにアイコンとして表示されます。

1 ファイルを開く

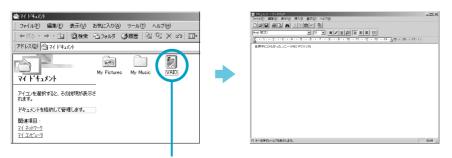
ためしに「文字入力を練習する」の手順4で保存したファイルを開いてみます。

1 デスクトップ画面左上の（マイドキュメント）にポインタを合わせ、ダブルクリックする。

「マイドキュメント」ウィンドウが表示されます。ウィンドウの中に「文字の入力を練習する」の手順4で作成した「VAIO」ファイルがアイコンで表示されます。

ここをダブルクリックする。

2 「VAIO」ファイルのアイコンにポインタを合わせ、ダブルクリックする。

「ワードパッド」ソフトウェアが起動し、「VAIO」ファイルのウィンドウが開きます。

これをダブルクリックする。

ファイルを閉じるには

「VAIO」ファイルのウィンドウの右上の ☒ にポインタを合わせ、クリックする。

「VAIO」ファイルのウィンドウが閉じ、「ワードパッド」ソフトウェアが終了します。

ファイルを開いても変更を加えなければ、終了してもファイルは新しく保存されません。

ちょっと一言

- ファイルの内容に変更があるときは、終了する前に、変更内容を保存するか、保存しないで終了するか確認するメッセージが表示されます。
- 「ワードパッド」ソフトウェアの「ファイル」メニューから［ワードパッドの終了］をクリックしても終了できます。

次のページへつづく

2 フォルダを作る

「フォルダ」は作成したファイルやソフトウェアを保存しておく場所です。
例えば、「お絵かき」フォルダや、「手紙」フォルダのように、種類や用途別に名前をつけてフォルダを作ってファイルを保存しておけばわかりやすく整理できます。
ためしに「マイドキュメント」の中にフォルダを作ってみます。

1

デスクトップ画面の「マイドキュメント」ウィンドウのどこかをクリックする。

「マイドキュメント」ウィンドウが最前面に表示されます。

2

「マイドキュメント」ウィンドウの上の［ファイル］をクリックし、表示されるメニューから［新規作成］にポインタを合わせる。

サブメニューが表示されます。

3

サブメニューから［フォルダ］をクリックする。

「マイドキュメント」ウィンドウの中に新しいフォルダが作成されます。

ちょっと一言

新しいフォルダは以下のところに作成されます。

マイ コンピュータ ··· ローカル ディスク (C:) ··· マイ ドキュメント

新しいフォルダに「Sony」と名前を入力する。

ちょっと一言

- デスクトップ画面上でフォルダやファイルを作成すると、フォルダにすぐ名前が付けられるようフォルダやファイルの名前の部分が黒く反転して表示されます。
  もし入力前にデスクトップ画面上のどこかをクリックすると、反転表示が解除され、再度名前の部分をクリックしないと名前を入力できません。
  反転表示が解除されたときは、次の手順で名前を入力します。
  ① 名前を入れたいフォルダのアイコンをクリックする。
  　アイコンと名前の部分の両方が反転表示されます。
  ② この状態で名前の部分をもう一度クリックする。
  　アイコンの反転表示だけが解除されて名前を入力できるようになります。
- フォルダやファイルの名前はデスクトップ画面上でいつでも変えることができます。

3 ファイルを移動する

ためしに手順2で作った「Sony」フォルダに、「ワードパッド」ソフトウェアで作った「VAIO」ファイルを移動してみましょう。

1 「マイドキュメント」ウィンドウの中にある「VAIO」ファイルにポインタを合わせ、クリックする。

「VAIO」ファイルが選択され、反転表示されます。

2 マウスの左ボタンを押したまま、「VAIO」ファイルを「Sony」フォルダまでマウスを移動（ドラッグ）して重ねる。

「VAIO」ファイルの輪郭もポインタと一緒に移動します。

3 「Sony」フォルダが反転表示されたら、マウスの左ボタンを離す。

「VAIO」ファイルが「Sony」フォルダの中に移動します。

「VAIO」ファイルを見るには、「Sony」フォルダにポインタを合わせ、ダブルクリックします。「Sony」フォルダのウィンドウが開き、移動した「VAIO」ファイルが表示されます。

「マイドキュメント」ウィンドウに戻るには、ウィンドウ上部の ⇦戻る▾ をクリックします。

ここをクリックする。

4 ファイルをコピーする

作成した文書などのファイルはコピーすることができます。
ためしに「マイドキュメント」ウィンドウに別のフォルダを作って「VAIO」ファイルをコピーしてみましょう。

ちょっと一言

ファイルはわざわざ作成した文書を開かなくてもコピーすることができます。

1 「マイドキュメント」ウィンドウの中で右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。

ちょっと一言

ここでは「2フォルダを作る」とは別のやりかたでフォルダを作ってみます。

次のページへつづく

2 ショートカットメニューの［新規作成］にポインタを合わせる。

サブメニューが表示されます。

3 サブメニューの［フォルダ］をクリックする。

新しいフォルダが作成されます。

4 新しいフォルダに「太郎」と名前を付ける。

名前の付けかたについて詳しくは、「2フォルダを作る」の手順4（83ページ）をご覧ください。

「マイドキュメント」ウィンドウの中に「太郎」フォルダができます。

5 「Sony」フォルダをダブルクリックする。

「Sony」フォルダが開きます。

6 「VAIO」ファイルにポインタを合わせ、右クリックする。

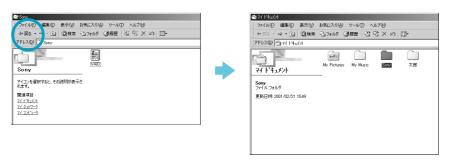
ポインタの位置にショートカットメニューが表示されます。

7 [コピー] にポインタを合わせ、クリックする。

「VAIO」ファイルがコピーされます。

次のページへつづく

8 ⇦戻る をクリックする。

「マイドキュメント」ウィンドウに戻ります。

9 新しく作った「太郎」フォルダを右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。

10 ［貼り付け］にポインタを合わせ、クリックする。

「太郎」フォルダの中に「VAIO」ファイルが貼り付けられます。

コピーした「VAIO」ファイルを見るには、［太郎］フォルダをダブルクリックします。

「太郎」フォルダが開き、コピーされた「VAIO」ファイルが表示されます。

5 ファイルを削除する

いらなくなったファイルは削除することができます。ためしに手順4でコピーした「VAIO」ファイルを削除してみましょう。

1 「VAIO」ファイルにポインタを合わせ、クリックする。

「VAIO」ファイルが選択され、反転表示されます。

次のページへつづく

2 マウスの左ボタンを押したまま、（ごみ箱）までマウスを移動（ドラッグ）し、（ごみ箱）に重ねる。

「VAIO」ファイルの輪郭がポインタと一緒に移動し、ファイルがごみ箱に入ります。

ちょっと一言

ファイルを移動（ドラッグ）中に、手がマウスの左ボタンから離れてしまったときは、そこにファイルが置かれた状態になっています。あわてず、その場所からあらためてファイルにポインタを合わせて、マウスの左ボタンを押して移動（ドラッグ）を続けてください。

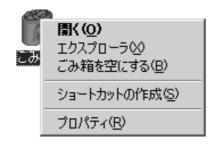
ごみ箱を空にするには

ごみ箱に移動したファイルは、ごみ箱の中から取り出すことができます。
ごみ箱の中のファイルを完全に消すには以下のように操作します。

ご注意

以下の操作を行うと、ファイルは完全に消去され復元することはできません。

① （ごみ箱）にポインタを合わせ、右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。

❷ ［ごみ箱を空にする］にポインタを合わせ、クリックする。

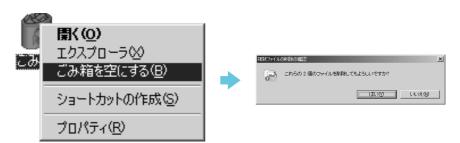
ファイルの削除を確認する画面が表示されます。

❸ ［はい(Y)］をクリックする。

ファイルが完全に削除されます。

ごみ箱アイコンが から に変わります。（ごみ箱の中の紙くずがなくなります。）

ちょっと一言

ファイルを削除するには、ファイルを右クリックし、ショートカットメニューで［削除］をクリックするという方法もあります。

カスタマー登録する／インターネットに接続する

この章では、オンラインでカスタマー登録する手順と
インターネット接続サービスへのオンライン入会手順
を説明します。

カスタマー登録する

カスタマー登録は必ず行ってください。
ここでは、オンラインでカスタマー登録する手順を説明します。

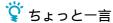
VAIOカスタマーご登録について

ソニーは「バイオ」をご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート・サービスをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします。（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません。）なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（256ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先
VAIOカスタマー専用デスク　　電話番号：03-3584-6651

VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。

ちょっと一言

- 付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」にご記入のうえ、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、司法機関や行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合は除きます。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所など登録内容の変更を行うときは、デスクトップ画面左下の をクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［VAIOオンラインカスタマー登録］をクリックして変更手続きを行ってください。
- 13才より小さなお子さまは、ほごしゃの方といっしょにとうろくしてください。

ご注意

次ページからの手順を行うには、本機が一般電話回線につながっている必要があります。
「VAIOオンラインカスタマー登録」にご使用いただく電話回線はISDN回線や携帯電話には対応していません。ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのアナログポートと本機後面のLINEジャックをつないでください。つなぎかたについては「接続する」の「ISDN回線につなぐときは」（29ページ）をご覧ください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

1 デスクトップ画面上の [Welcome! ボタン] をクリックする。

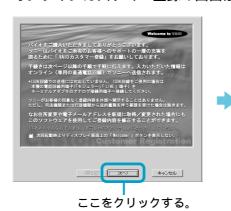
「Welcome」の画面が表示されます。

ここをクリックする。

カスタマー登録をしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると「インターネット接続サービスご紹介」の画面が表示されます。その後の手順について詳しくは112ページをご覧ください。

2 [次へ>] をクリックする。

オンラインカスタマー登録の画面が表示されます。

ここをクリックする。

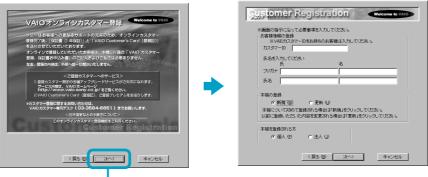
1つ前の画面が見たいときは

[<戻る(B)] をクリックします。

ちょっと一言

「次回起動時よりディスプレイ画面上の「Welcome!」ボタンを表示しない。」の □ をクリックして ☑ してから [次へ>] をクリックすると、デスクトップ画面上から [Welcome! ボタン] が消えます。

次のページへつづく

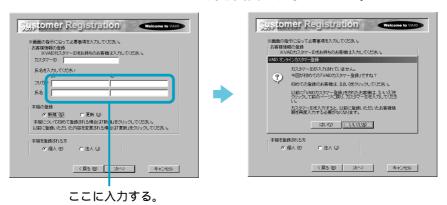
3 次へ＞ をクリックする。

右側の画面が表示されます。

ここをクリックする。

4 お客様の名前とふりがなを漢字とカタカナで入力し、次へ＞ をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

ここに入力する。

5 はい(Y) をクリックする。

右側の画面が表示されます。

ここをクリックする。

ちょっと一言

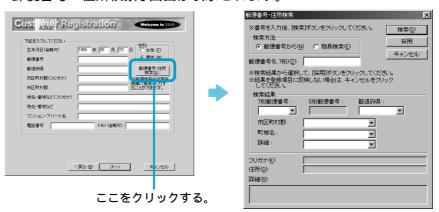
手順4の「VAIOオンラインカスタマー登録」画面の「本機を登録される方」で「法人」を選んだときは、法人用の情報を入力する画面が表示されます。画面の指示に従って情報を入力してから手順11に進んでください。

6 生年月日を入力し、性別を選ぶ。

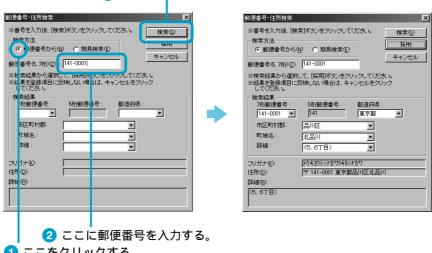
ここに入力する。　ここで性別を選ぶ。

7 郵便番号・住所検索(S)... をクリックする。

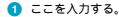
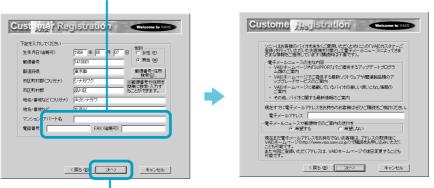
「郵便番号・住所検索」画面が表示されます。

次のページへつづく

郵便番号で住所を検索する。

［検索方法］で［郵便番号から］をクリックし、ご自分の郵便番号を入力してから 検索(S) をクリックすると、住所が自動的に入力されます。

9

住所を確認し、正しければ 採用 をクリックする。

「郵便番号・住所検索」画面が閉じ、郵便番号や住所が自動的に入力されます。

10 「下記を記入してください」の空欄に入力し、次へ> をクリックする。

右側の画面が表示されます。

ご注意

郵便番号と電話番号を入力するときは、-（ハイフン）は入力しないでください。

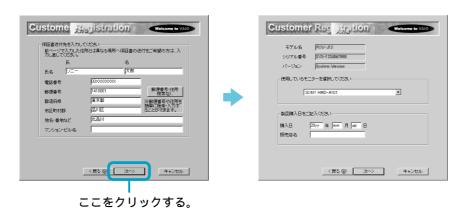
11 すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、次へ> をクリックする。

右側の画面が表示されます。
電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに 次へ> をクリックしてください。

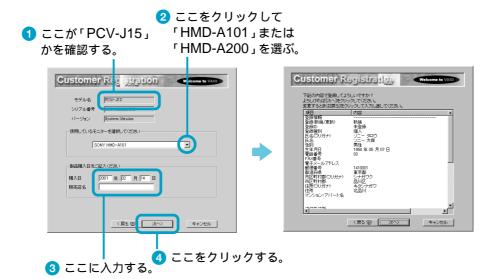
電子メールアドレスとは

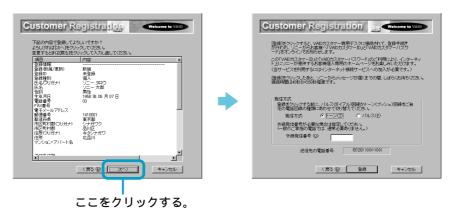
インターネットなどのネットワークを使ってコンピュータ同士でメッセージをやりとりするシステムを電子メール（Eメール）といいます。電子メールアドレスとは、アルファベットや数字で表された電子メールの宛先のことで住所と同じ役割をします。

次のページへつづく

12 保証書送付先を入力し、［次へ＞］をクリックする。

右側の画面が表示されます。

13 本機のモデル名を確認し、使用しているディスプレイ、本機の購入日や販売店名を入力し、［次へ＞］をクリックする。

右側の画面が表示されます。

14 登録する内容を確認し、［次へ＞］をクリックする。

右側の画面が表示されます。

ここをクリックする。

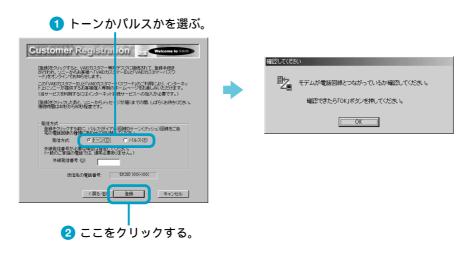
ちょっと一言

登録内容を変更するときは［＜戻る(B)］をクリックし、変更したい画面まで戻り、入力し直します。

15 お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、［登録］をクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

❶ トーンかパルスかを選ぶ。

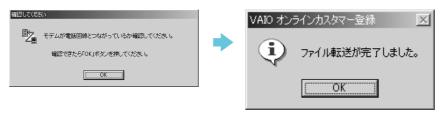
❷ ここをクリックする。

ちょっと一言

- **トーン式ダイヤルとは**：電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- **パルス式ダイヤルとは**：ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。

次のページへつづく

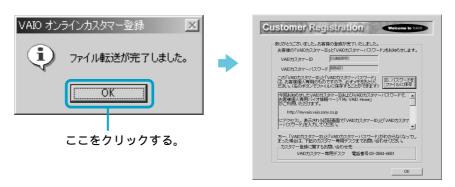
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTから送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）にお問い合わせください。

16 電話回線が接続されていることを確認し、［OK］をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ファイル転送が完了しました」というメッセージが表示されます。
ファイル転送後、電話回線が切れます。

ご注意

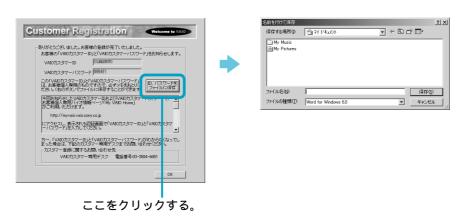
ファイルの転送が終わるまで約1〜2分かかります。

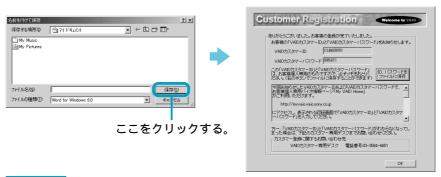
17 ［OK］をクリックする。

「ありがとうございました。お客さまの登録が完了いたしました。」画面が表示され、あなたのカスタマーIDとパスワードが表示されます。

ちょっと一言

カスタマーIDとパスワードはあなたの個人情報です。情報が他人にもれないように充分ご注意ください。また、カスタマーIDとパスワードはVAIOカスタマーリンクのサービスやサポートをお受けになるときなどに必要となりますので、忘れないようにメモをとっておくことをおすすめします。また、次の手順18〜19の操作を行い、カスタマーIDとパスワードをデータとして保存しておくことをおすすめします。

18 ［ID、パスワードをファイルに保存］をクリックする。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

19 ファイルに任意の名前を付け、［保存(S)］をクリックする。

あなたのカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

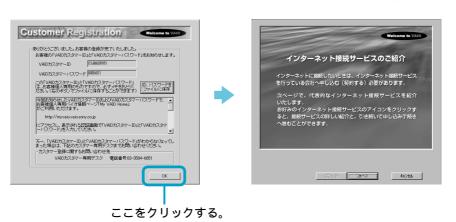
ちょっと一言

保存されたファイルは、デスクトップ画面上の（マイドキュメント）をダブルクリックすると表示されます。

次のページへつづく

20 OK をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。

21 次へ> をクリックする。

So-netの紹介画面が表示されます。

インターネットに接続するときは113ページの手順5へお進みください。
インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は
キャンセル をクリックします。

インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとコンピュータとの間を仲介する役割を持っています。インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

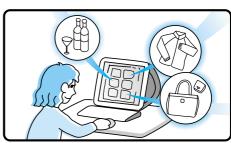
インターネットを始める

インターネットとは

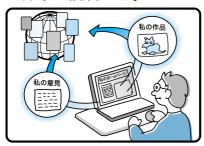
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットを利用するために必要な準備やホームページの見かた、電子メールのやりとりのしかたを説明します。

ホームページを見る

世界の景色を見る。
ホテルや乗物の予約をする。
調べたい情報を検索する。
趣味の仲間をさがす。
すべてが地球規模です。

オンラインショッピングをする

食べ物や衣類など、
家に居ながら遠く離れた外国でも行きつけのお店の感覚で買い物ができます。

自分のホームページを公開する

自分の意見を発言する。
趣味の仲間をつのる。
絵や文芸作品を発表する。
仕事の広告を出す。
世界中が読者です。

電子メールをやりとりする

世界各国に時間を気にすることなく好きなときに、電子メールを送れます。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。
また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線とISDN（アイエスディエヌ）回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。

ISDNとは

NTTのデジタル通信網を使った回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。
ISDN回線をお使いになる場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

ターミナルアダプタ

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器です。ISDN回線を使って本機を使用するためには、付属のテレホンコードの他にこの機器が必要になります。ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

ちょっと一言

本機では、インターネット接続の入会手続きに限り一般電話回線を使用します。ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのアナログポートと本機後面のLINEジャックをつないでください。接続について詳しくは、「接続する」の手順4（27ページ）をご覧ください。

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。本機には内蔵されていますので、準備する必要はありません。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア（「ウェブブラウザ」と言います。）が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。
本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

 Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

 Outlook Express

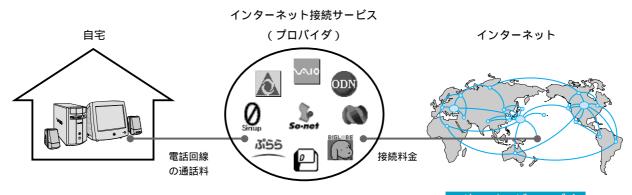
 Eudora

 PostPet

本書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。
これらのソフトウェアの特長について詳しくは、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」内の項目をご覧ください。

インターネット接続サービス（インターネットサービスプロバイダ）

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」または単に「プロバイダ」と言います。（以下、「プロバイダ」と記します。）
プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。
プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。
プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダには電話回線を使って接続するので、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかります。

次のページへつづく

ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上でのトラブルについて

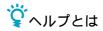
さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。
インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。
ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。
また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。
ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。
見知らぬ人から電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、プログラムを実行せずに削除してください。
また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。
本機には、コンピュータウイルス検査／除去用のソフトウェアとして「VirusScan」ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアについて詳しくは、「コンピュータウイルスについて」（232ページ）、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」内「ユーティリティ」の「VirusScan」および「VirusScan」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ヘルプとは

Windows Meやソフトウェアなどの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して表示する機能のことです。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などが漏れてしまう可能性があります。悪意の持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上で自分の情報などはむやみに公開しないようにしましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

ご注意

ソニーではインターネット上でのトラブルに関して一切保証しておりません。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、
本機をインターネットに接続する必要があります。
以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

• 本機が正しく電話回線につながっているか（27ページ）
• お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか（101ページ）

ISDN回線をご利用の場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。
以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

1 **プロバイダと契約する（111ページ）**

プロバイダと契約します。契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

2 **チェックシートを作成する（126ページ）**

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。
資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください。（125ページ）

ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

3 **接続のための設定をする（133ページ）**

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

4 **電子メールソフトウェアの設定をする（143ページ）**

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。

5 **インターネットに接続する（150ページ）**

契約したプロバイダに接続します。

6 **ホームページを見る（154ページ）**

ホームページを見る練習をしてみましょう。

7 **電子メールをやりとりする（161ページ）**

電子メールをやりとりする練習をしてみましょう。

1 プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。
数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。料金やサービスの内容について詳しくは、次ページからの手順に従って操作し、手順5のSo-netの紹介画面や各プロバイダの紹介画面の説明をご覧ください。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダと契約するには、オンラインサインアップを使うと便利です。

オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。

ここでは、デスクトップ画面上の （[Welcome!] ボタン）をクリックし、画面の指示に従って操作してみましょう。
VAIOオンラインカスタマー登録に続いてオンラインサインアップを行う場合は、手順4から始めてください。

ちょっと一言

- デスクトップ画面上の （インターネット接続サービス）をダブルクリックし、表示される「インターネット接続サービスご紹介」画面でお好みのプロバイダのアイコンをクリックして、オンラインで契約を始めることもできます。
- デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、お好みのプロバイダのフォルダをクリックし、表示されるサインアップソフトウェアをクリックしてオンラインで契約を始めることもできます。

So-netへ入会される方へ

デスクトップ画面上の （So-net簡単スターター）をダブルクリックしてオンラインサインアップを始めると便利です。So-netへのオンラインサインアップの手順について詳しくは、「So-netにオンラインサインアップするには」（115ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

1

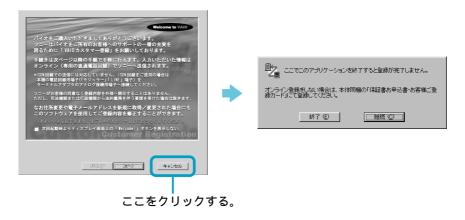
デスクトップ画面上の （Welcome!ボタン） をクリックする。

「Welcome」の画面が表示されます。

ここをクリックする。

2

キャンセル をクリックする。

右側の画面が表示されます。

3

終了(E) をクリックする。

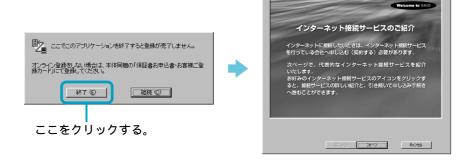
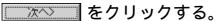
「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。

4

をクリックする。

So-netの紹介画面が表示されます。

ここをクリックする。

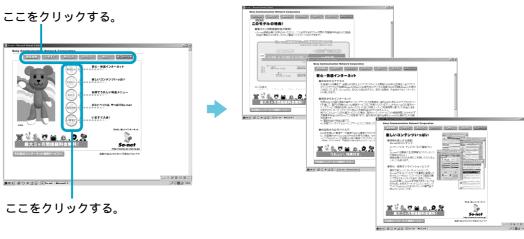
5

So-netのサービス内容を確認する。

So-netの紹介画面上のボタンをクリックし、接続料金が最大3か月間無料になる特典やSo-netのサービス内容について確認します。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

次のページへつづく

インターネットに接続するまでの流れ（つづき）

ここからは、入会したいプロバイダに応じて操作してください。

So-net**に入会したいときは**：

次ページの「So-netにオンラインサインアップするには」をご覧ください。

その他のプロバイダに入会したいときは：

［その他のインターネット接続サービスへ］をクリックしてください。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

ここをクリックする。

この後の手順については、「So-net以外のプロバイダにオンラインサインアップするには」（124ページ）をご覧ください。

So-netにオンラインサインアップするには

ここでは、実際にSo-netにオンラインサインアップします。
以下の手順に従ってSo-netにオンラインサインアップすると、本機の特典として接続料金が最大3か月間無料になる特典を受けられます。（4か月目からは通常の接続料金がかかります。なお、「電話パック」コースは特典の対象外です。）

オンラインサインアップを始めるまえに

ご本人名義のクレジットカードをご用意ください。

ダイナース、JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA、MasterCardのクレジットカードがご利用いただけます。

ユーザーIDとパスワードをあらかじめご用意ください。

ユーザーID

- So-netでは、ユーザーIDをお客様ご本人の希望に従ってご登録いたします。ただし、すでに他のお客様が登録されているユーザーIDの登録はできません。
- ユーザーIDは、半角英小文字アルファベット（a～z）、半角数字（0～9）、および半角記号の「-」（ハイフン）と「_」（アンダーバー）を組み合わせて設定できます。これ以外の文字、記号、大文字、全角文字は使用できません。
- 文字数は、3文字以上8文字以内で設定してください。
- ユーザーIDの最初の1文字は、必ず半角小文字のアルファベットをご使用ください。
- ユーザーIDは電子メールアドレスの先頭部分になります。電子メールで利用したい名前を入力してください。また、すでに同じユーザーIDが存在することもございますので、あらかじめいくつかご用意することをおすすします。

ユーザーID使用可能文字

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789-_

次のページへつづく

パスワード

必ず、アルファベットと数字を組み合せてご記入ください。

- パスワードは、半角英大文字・半角英小文字アルファベット（A〜Z、a〜z）、半角数字（0〜9）、および半角記号の「-（ハイフン）」と「_（アンダーバー）」を組み合わせて設定できます。これ以外の文字、記号、全角文字は使用できません。
- 文字数は、6文字以上8文字以内で設定してください。
- 必ず2文字以上の英文字（アルファベット）と1文字以上の数字か記号を組み合わせて設定してください。パスワードには、大文字、小文字の区別があります。

  例：ab-CD_12
- 先頭文字は、アルファベットか数字を使用してください。（記号は不可）

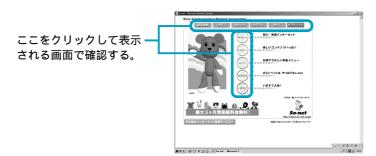
パスワード使用可能文字

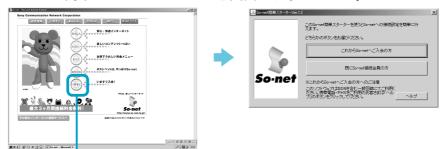
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789-_

必ず会員規約をお読みくださいください

会員規約はオンラインサインアップ開始後にご覧になれます。
会員規約に同意後、入会手続きとなります。

1 So-net**のサービス内容を確認する。**

So-netの紹介画面上のボタンをクリックして、3か月無料特典やその他のサービス内容について確認します。

2 So-net**の紹介画面の** （いますぐ） **をクリックする。**

「So-net簡単スターター Ver.1.2」画面が表示されます。

ここをクリックする。

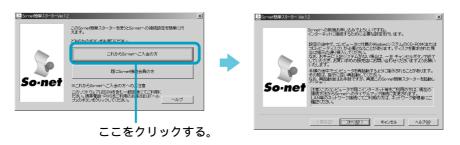
ご注意

本機の特典サービスは （いますぐ） をクリックしてオンラインサインアップに進まないと受けられません。インターネット接続ウィザードやCD-ROMからのご入会では、特典が受けられませんのでご注意ください。

3 **［これから**So-net**へご入会の方］をクリックする。**

接続に関する注意事項を確認する画面が表示されます。

次のページへつづく

4

注意事項を確認し、 次へ(N) > をクリックする。

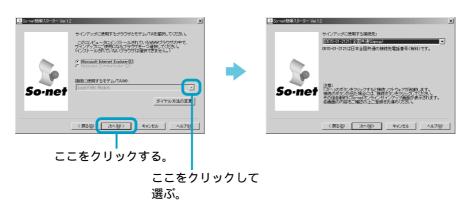
ブラウザソフトウェアと、モデムまたはTAを選ぶ画面が表示されます。

TAとは

ターミナルアダプタのことです。詳しくは106ページをご覧ください。

5

▼ をクリックして、使用するモデムまたはターミナルアダプタを選び、 次へ(N) > をクリックする。

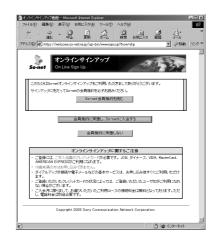
アクセスポイント選択画面が表示されます。

ちょっと一言

「接続する」の手順4（27ページ）で、本機後面のLINEジャックと壁の電話回線のモジュラジャックをつないだときは、本機の内蔵モデムを使って接続します。「接続に使用するモデム／TA」が「Lucent Win Modem」になっているか確認してください。
ISDN回線につないだときは、「接続に使用するモデム／TA」で使用するターミナルアダプタを選んでください。

「サインアップに使用する接続先」が「[0570-01-2121] 全国共通(Signup)」になっているか確認し、［次へ(N) >］をクリックする。

接続ソフトウェア、ブラウザソフトウェアが自動的に起動し、So-netオンラインサインアップのトップページが表示されます。

全国共通の電話番号につながりにくいときは

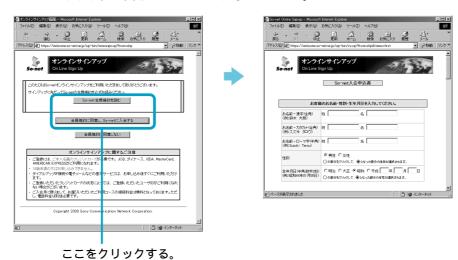
「サインアップに使用する接続先」の［▼］をクリックして、表示されるリストからアクセスポイントを選んでから［次へ(N) >］をクリックしてください。

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、So-netなどのプロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

次のページへつづく

7 ［So-net会員規約を読む］をクリックして表示内容を読んだあと、［会員規約に同意し、So-netに入会する］をクリックする。

「So-net入会申込書」のページが表示されます。

ここをクリックする。

8 画面の指示に従って、入会申込書のフォームに必要事項を入力する。

ちょっと一言

それぞれ全角・半角文字の指示がありますので、例を参考に入力してください。

❶ 名前、性別、生年月日を入力する。

左の欄に姓を、右の欄に名を入力してください。
左の欄に姓を、右の欄に名を全角カタカナで入力してください。
左の欄に姓を、右の欄に名を半角ローマ字で入力してください。
該当する性別の ◯ をクリックして ◉ にしてください。
生年月日の年号の ◯ をクリックして ◉ にし、年月日を入力してください。

❷ **料金コース、クレジットカード情報を入力する。**

❸ **アクセスポイントを選ぶ。**

❹ **ユーザーID・パスワードを入力する。**

❺ **アンケートなどを入力する。**

すべての項目を入力し終わったら [申し込む] をクリックする。

ご注意

- ここでダブルクリックをすると二重登録となる恐れがありますので、ご注意ください。
- 入力内容に誤りや不備があった場合、またはご希望のユーザーIDを既に他の会員の方が登録していた場合には、入力内容を見直して再登録してください。

登録が完了すると、お客様番号・ユーザーID・パスワードが表示されます。

ご注意

お客様番号・ユーザーID・パスワードは忘れないようにメモを取ってください。
また、このメモは厳重に保管してください。

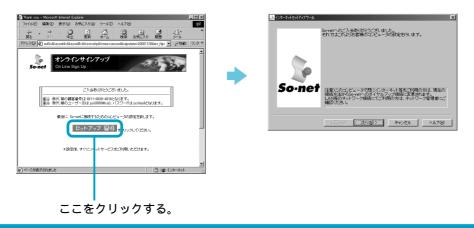
ちょっと一言

ここでメモを取った内容は、インターネットに接続するための設定を行うときに必要になります。詳しくは、「2チェックシートを作成する」（126ページ）および「3接続のための設定をする」（133ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

10 セットアップ をクリックする。

接続ソフトウェア、ブラウザソフトウェアが終了し、「So-net簡単スタータ―」ソフトウェアが自動的に再起動し、「インターネットセットアップツール」画面が表示されます。

11 次へ(N) > をクリックする。

ブラウザソフトウェア、電子メールソフトウェアを選択する画面が表示されます。

12 使用するブラウザソフトウェア、電子メールソフトウェアが選ばれていることを確認し、 完了(F) をクリックする。

自動的に本機の設定が開始され、すべての設定が完了すると設定終了の画面が表示されます。

13 OK をクリックする。

以上でSo-netへのご入会、お使いのコンピュータの設定は完了です 。

ちょっと一言

- ご登録後すぐにインターネットをご利用できます。
- ご登録後So-netより「ご登録内容通知書」と「So-netインターネット設定マニュアル」を郵送にてお送りいたします。郵便事情にもよりますが、おおよそ4〜7日後になります。

オンラインサインアップがうまくいかなかったときは

以下の項目をご確認ください。

- トーンとパルスの設定は合っていますか？（101ページ）
- モデム、TAの選択は正しくされていますか？（118ページ）
- キャッチホン契約をされていませんか？
  接続中にかかってきた電話によって通信が中断されることがあります。

オンラインサインアップがうまくいかない、オンラインサインアップが途中で終了して二重登録の可能性があると思われるときは、125ページのSo-netインフォメーションデスクまでお問い合わせください。

So-net以外のプロバイダにオンラインサインアップするには

お好みのプロバイダのアイコンをクリックして、入会する手続きを開始します。

画面の指示に従って操作してください。

お好みのプロバイダのアイコンをクリックする。

ご注意

ISDN回線をお使いになっているときは、ターミナルアダプタのアナログポートと本機後面のLINEジャックをつないでから入会手続きを行ってください。

プロバイダとの契約後にインターネット接続を手動で設定する、またはLAN（ネットワーク）を使って接続するときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、郵送されてきた資料の設定情報をご覧になり、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右上の をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。
すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。
各プロバイダについて詳しくは、本機のオンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」をご覧いただくか、下記の電話番号へお問い合わせください。

America Online
AOLジャパン株式会社　AOLサポートセンター
電話番号：（03）5331-7400

BIGLOBE
BIGLOBEインフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（フリーダイヤル）
（03）3947-0962（携帯・PHS）

DION
（株）ディーディーアイカスタマーサービスセンター

サービス内容に関するお問い合わせ
電話番号：（0077）7192（無料）

接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：（0077）20227（有料、全国一律1分10円）

上記番号につながらない場合は
札幌（011）232-7012（有料）
東京（03）5348-3975（有料）

@nifty
ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター
電話番号：（0120）816-042（フリーダイヤル）

ODN
日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
電話番号：0088-86（無料）

So-net
ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-net インフォメーションデスク
電話番号：So-net インフォダイヤル　全国共通（0570）00-1414
東京（03）3446-7555／名古屋（052）819-1300／
大阪（06）6577-4000／札幌（011）711-3765／仙台（022）256-2221／
広島（082）286-1286／福岡（092）624-3910

バイオネットワークサービス
ソニードットコム・ジャパン（株）　バイオネットワークサービスセンター
電話番号：（03）5783-1133

次のページへつづく

ZERO
　ゼロ株式会社
　電話番号：（0120）522-555（フリーダイヤル）

ぷらら
　株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」
　電話番号：（03）5954-5330

2 チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。
その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。
プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、次ページのチェックシートをあらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」（133ページ）および「電子メールソフトウェアの設定をする」（143ページ）の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。
128ページからの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- このチェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- このチェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、この説明書は大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「❺パスワード（PPP）」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「⓮パスワード（POPアカウントパスワード）」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。これらのパスワードはWindows Meを使用するときのパスワードとは異なります。

ちょっと一言

- 他人に見られることがないように、次ページを複写したうえで各項目を記入し、厳重に保することをおすすめします。
- 複写した紙に記入しておくと、133ページからの設定を行うときに便利です。

設定項目	あなたの設定値	例（So-net の場合）
❶ 市外局番		03
❷ トーン／パルス（電話回線の種類）		
❸ 電話番号（アクセスポイント）		03-5792-9060
❹ ユーザー名（PPP）		ichiro@aa2
❺ パスワード（PPP）		
❻ DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）	. . .	202.238.95.24
❼ 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）	. . .	202.238.95.26
❽ ダイヤルアップ接続名		So-net 東京第16
❾ 表示名（差出人フィールドでの表示）		Ichiro Suzuki
❿ 電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⓫ 受信メール（POP3またはIMAP）サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
⓬ 送信メール（SMTP）サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
⓭ POPアカウント名		ichiro
⓮ パスワード（POPアカウントパスワード）		
⓯ インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ちょっと一言

「❻DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」と「❼別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

So-netと契約した方は

121ページの手順9で登録した内容のメモをご覧になり、上記のチェックシートを記入してください。
詳しくは、次のページからの「設定項目について」をご覧ください。

次のページへつづく

設定項目について

❶ 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。
例：03

❷ トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か
確認してご記入ください。

トーン式： 電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式： ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTから送られてくる請求内訳表をご覧ください。
請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。
電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）にお問い合わせください。

❸ 電話番号（アクセスポイント）

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号（接続先の電話番号）をご記入ください。アクセスポイントは「K56flex」または「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。
例：03-5792-9060

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

ちょっと一言

So-netと契約された方は、120ページの手順8で選んだアクセスポイントに自動的に設定されますので、この項目に記入する必要はありません。

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは電話番号が異なる場合があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

❹ ユーザー名（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。

例：ichiro@aa2

ちょっと一言

- ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。
- So-netと契約された方は、120ページの手順9で登録したユーザーIDをご記入ください。

PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワークに接続する方法の1つです。電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

❺ パスワード（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

ちょっと一言

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。
- So-netと契約された方は、120ページの手順9で登録したパスワードをご記入ください。

ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

❻ DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例：202.238.95.24

次のページへつづく

ちょっと一言

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。
- So-netと契約された方は、DNSサーバーアドレスは自動的に設定されますのでこの項目に記入する必要はありません。

❼ 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

上記の「❻DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。
DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「❼別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。
例：202.238.95.26

ちょっと一言

So-netと契約された方は、別のDNSサーバーアドレスは自動的に設定されますのでこの項目に記入する必要はありません。

❽ ダイヤルアップ接続名

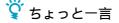
デスクトップ画面左下の をクリックして［設定］、［ダイヤルアップネットワーク］の順にポインタを合わせ、［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックして表示される「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの中にある接続アイコンの名前です。
お好みの名前をご記入ください。
例：So-net 東京第16

ちょっと一言

So-netと契約された方は、自動的に接続アイコンが作成され、名前も付けられます。

❾ 表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。
例：Ichiro Suzuki

ちょっと一言

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます 。

❿ 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。
プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

 ちょっと一言

- 電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。
- So-netと契約された方は、オンラインサインアップ後に自動的に電子メールアドレスが割り振られます。

⓫ 受信メール（POP3またはIMAP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

 ちょっと一言

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- So-netと契約された方は、受信メールサーバーは自動的に設定されますので、この項目に記入する必要はありません。

⓬ 送信メール（SMTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

 ちょっと一言

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「⓫受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- So-netと契約された方は、送信メールサーバーは自動的に設定されますので、この項目に記入する必要はありません。

次のページへつづく

⓭ POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「❿電子メールアドレス」の「@」（アットマーク）より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「⓮パスワード」の両方が必要になります。
例：「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

ちょっと一言

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「❹ユーザー名」と同じ場合もあります。

⓮ パスワード（POPアカウントパスワード）

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。
電子メールを見るためには、「⓭POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ちょっと一言

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

⓯ インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。
例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

3 接続のための設定をする

本機をインターネットに接続するための設定を行います。
「チェックシートを作成する」(127ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについては、「電源を入れる」(31ページ)をご覧ください。

2 デスクトップ画面上にある (インターネットに接続)をダブルクリックする。

右側の画面が表示されます。

ここをダブルクリックする。

ちょっと一言

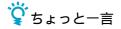
接続のための設定が終わると (インターネットに接続)はデスクトップ画面から消えます。もう一度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の をクリックし、[プログラム]にポインタを合わせ、[アクセサリ]→[通信]→[インターネット接続ウィザード]の順にクリックします。

3 下の Click! をクリックする。

「インターネット接続の設定」画面が表示されます。

ここをクリックする。

次のページへつづく

ちょっと一言

この画面は Click! をクリックしたあとも消えません。139ページの手順13まで終了したら、画面右上の ☒ をクリックして終了させてください。

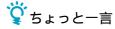
4 ［電話回線を使用して接続する］の ○ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) > をクリックする。

「ステップ1:インターネットアカウントの接続情報」画面が表示されます。

ここをクリックする。

5 アクセスポイントの電話番号を入力し 詳細設定(V)... をクリックする。

「詳細接続プロパティ」画面が表示されます。

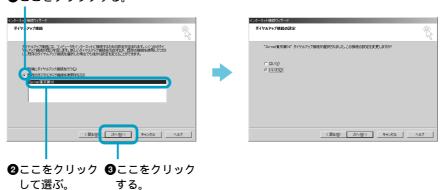
チェックシートの❸電話番号（アクセスポイント）を入力する。

ここをクリックする。

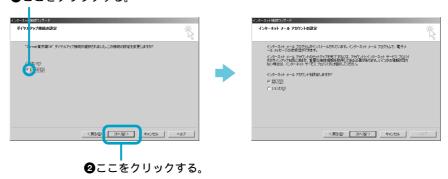
ちょっと一言

- チェックシートの「❻DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」と「❼別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」が空欄のときは、契約したプロバイダが自動的にDNSサーバーの設定を行います。この場合は、詳細設定を行う必要はありませんので、チェックシートの「❸電話番号（アクセスポイント）」を入力したあと、 詳細設定(V)... をクリックせずに、 次へ(N) > をクリックして手順11へ進んでください。

- So-netにオンラインサインアップした場合などは、手順4で［次へ(N) >］をクリックすると、「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。この「ダイヤルアップ接続」画面のリストに接続契約したプロバイダが表示されているときは、［既存のダイヤルアップ接続を使用する］をクリックすると、より簡単に設定を進めることができます。

❶「ダイヤルアップ接続」画面で［既存のダイヤルアップ接続を使用する］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ(N) >］をクリックする。

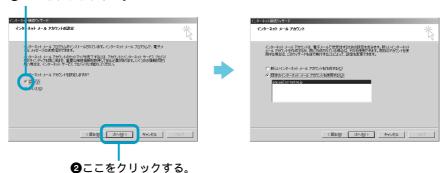
「ダイヤルアップ接続の設定」画面が表示されます。

❷「いいえ」の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ(N) >］をクリックする。

「インターネットメールアカウントの設定」画面が表示されます。

「はい」を選んだときは、手順5（134ページ）の「ステップ1：インターネットアカウントの接続情報」画面が表示されます。手順5以降の手順に従って操作してください。

次のページへつづく

❸「はい」の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) > をクリックする。

「インターネットメールアカウント」画面が表示されます。

❶ここをクリックする。

❷ここをクリックする。

❹［新しいインターネットメールアカウントを作成する］の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) > をクリックする。

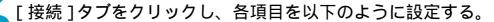
「名前」画面が表示されます。

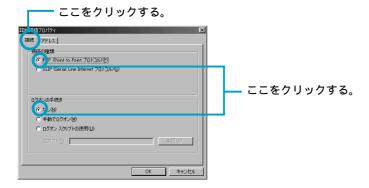
❶ここをクリックする。

❷ここをクリックする。

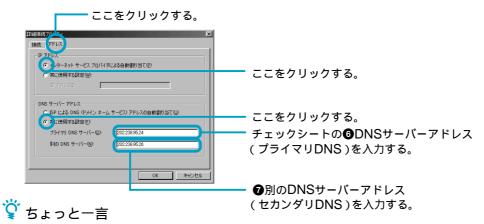
これ以降は143ページの手順2以降の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を行ってください。

6

[接続] タブをクリックし、各項目を以下のように設定する。

• **接続の種類**：[PPP（Point to Pointプロトコル)] をクリックする。

• **ログオンの手続き**：[なし] をクリックする。

7 [アドレス] タブをクリックし、各項目を以下のように設定する。

• IP**アドレス**：[インターネット サービス プロバイダによる自動割り当て] をクリックする。

• DNS**サーバーアドレス**：[常に使用する設定] をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。

ちょっと一言

チェックシートの「❻DNSサーバーアドレス（プライマリDNS)」と「❼別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS)」が空欄のときは、契約したプロバイダが自動的にDNSサーバーの設定を行います。この場合は、[ISPによるDNS（ドメイン ネーム サービス）アドレスの自動割り当て] をクリックしてください。

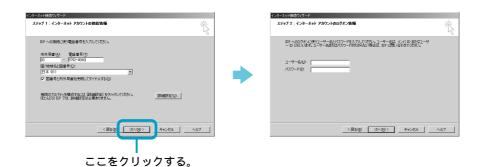
「❻DNSサーバーアドレス（プライマリDNS)」と「❼別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「別のDNSサーバー」は入力する必要はありません。

次のページへつづく

8 OK をクリックする。

「詳細接続プロパティ」画面が閉じます。

9 次へ> をクリックする。

「ステップ2：インターネット アカウントのログオン情報」画面が表示されます。

10 ユーザー名とパスワードを入力し、次へ> をクリックする。

「ステップ3：コンピュータの設定」画面が表示されます。

チェックシートの❹ユーザー名（PPP）を入力する。

チェックシートの❺パスワード（PPP）を入力する。

ここをクリックする。

ちょっと一言

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「＊」で表示されます。

11 ダイヤルアップ接続名を入力し、[次へ>] をクリックする。

「インターネット メール アカウントの設定」画面が表示されます。

チェックシートの❽ダイヤルアップ接続名を入力する。

12 [いいえ] の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ>] をクリックする。

「構成完了」画面が表示されます。

ここをクリックする。　ここをクリックする。

13 [完了(F)] をクリックする。

ここをクリックする。

「インターネット接続ウィザード」が終了します。

次のページへつづく

14 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

15 ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

16 （モデム）をダブルクリックする。

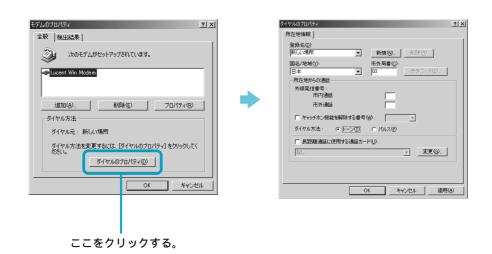
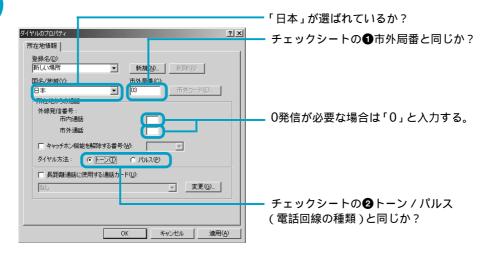
「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

ここをダブルクリックする。

17 ダイヤルのプロパティ(D) をクリックする。

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

ここをクリックする。

次のページへつづく

18 各項目を確認する。

ご注意

- 所在地情報の登録名を設定するときは、 新規(N)... をクリックして「新しい場所」と表示させてから「新しい場所」以外の任意の登録名に変更してください。
- 「外線発信番号」には0発信など、相手先の電話番号に番号入力が必要な場合以外、数字を入力しないでください。

19 「ダイヤルのプロパティ」画面の OK をクリックする。

20 「モデムのプロパティ」画面の OK をクリックする。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

4 電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。
ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は一度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1 デスクトップ画面上にある （Outlook Express）をダブルクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動し、インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

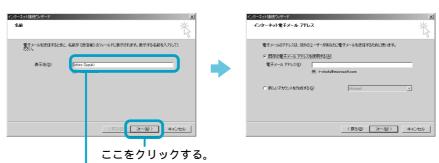
ここをダブルクリックする。

ちょっと一言

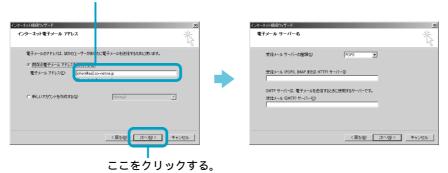
デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［プログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックしても「名前」画面が表示されます。

2 表示したい名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。

「インターネット電子メール アドレス」画面が表示されます。

次のページへつづく

3 電子メールアドレスを入力して、 次へ(N) > をクリックする。

「電子メール サーバー名」画面が表示されます。

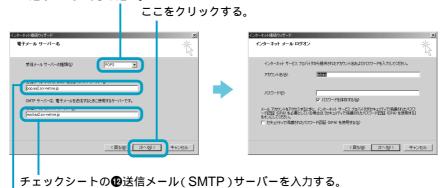
チェックシートの⓾電子メールアドレスを入力する。

ここをクリックする。

4 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。

「インターネット メール ログオン」画面が表示されます。

通常「POP3」を選ぶ。

ここをクリックする。

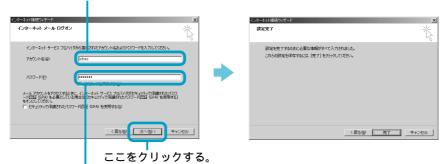
チェックシートの⓬送信メール（SMTP）サーバーを入力する。

チェックシートの⓫受信メール（POP3またはIMAP）サーバーを入力する。

ちょっと一言

- 「⓫受信メール（POP3またはIMAP）サーバー」の名前と「⓬送信メール（SMTP）サーバー」の名前は同じ場合があります。
- So-netと契約された方は、受信メールサーバーと送信メールサーバーは自動的に設定されます。

5 POPアカウント名とパスワードを入力し、[次へ(N) >] をクリックする。

「設定完了」画面が表示されます。

チェックシートの⑬POPアカウント名を入力する。

ここをクリックする。

チェックシートの⑭パスワード（POPアカウントパスワード）を入力する。

ちょっと一言

- 「パスワード」は「＊」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の☐ をクリックして☑ にすると、実際にインターネットに接続するときの「接続」画面（151ページの手順3）でパスワードを入力する手間が省けます。

6 [完了(F)] をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの設定が完了します。

ここをクリックする。

ご注意

[完了(F)] をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

次のページへつづく

ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。

メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

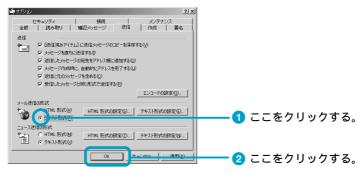
1 **「Outlook Express」画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［オプション］をクリックする。**

「オプション」画面が表示されます。

2 **［送信］タブをクリックする。**

「送信」画面が表示されます。

3 **「メール送信の形式」で［テキスト形式］をクリックし、［OK］をクリックする。**

送信するメッセージがテキスト形式になります。

電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

HTMLとは

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。

7 画面右上の ✕（「閉じる」ボタン）をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「⓯インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 「Outlook Express」画面で、［ツール］をクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

2 ［アカウント］をクリックする。

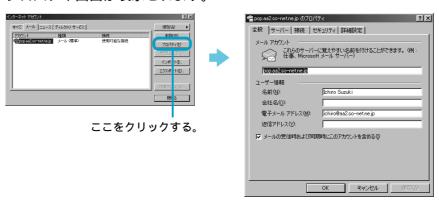
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

次のページへつづく

3 ［メール］タブをクリックする。

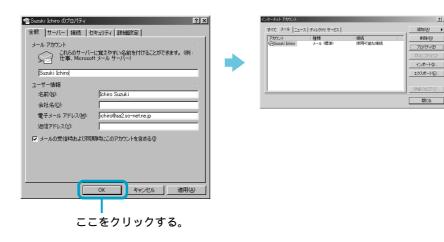
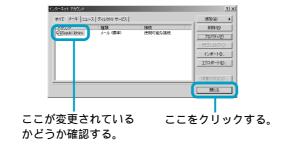
「メール」画面が表示されます。

4 プロパティ(P) をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5 「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分を変更する。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

6 OK をクリックする。

7 名前を変更した場合は、変更されているか確認して、閉じる をクリックする。

8 「Outlook Express」画面で右上の ☒（「閉じる」ボタン）をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

5 インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに接続するには、以下の手順に従って
操作してください。

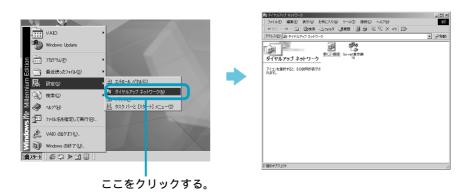
インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。
ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

1

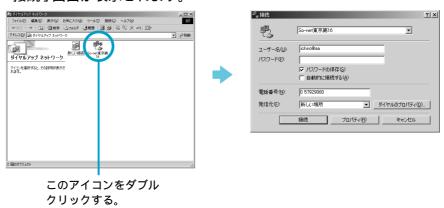
デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［設定］、［ダイヤルアップネットワーク］の順にポインタを合わせ、［ダイヤルアップネットワーク］をクリックする。

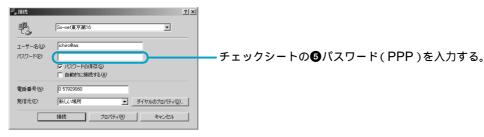
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

ちょっと一言

デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックすると、「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウの中の［ダイヤルアップネットワーク］をクリックしても「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

2 ダイヤルアップ接続名（チェックシートの❽）の をダブルクリックする。

下の例では［So-net東京第16］をダブルクリックします。
「接続」画面が表示されます。

このアイコンをダブルクリックする。

3 「接続」画面の各項目を入力または確認する。

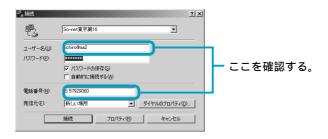
❶ パスワード（チェックシートの❺）を入力する。

ご注意

- 「パスワードの保存」の□をクリックして☑にすると次回からパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。
- Windows Meを起動するときにパスワードを入力する画面で［キャンセル］をクリックしたときは、上記のパスワードの保存はできません。

ちょっと一言

- 「パスワード」（チェックシートの❺パスワード（PPP））は「＊」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」の手順5（145ページ）で「パスワードを保存する」の□をクリックして☑にしておくと、入力された状態で表示されます。
- インターネットに接続していないときに、ウェブブラウザでホームページを見ようとしたり、電子メールソフトウェアで電子メールをやりとりしようとした場合、「接続」画面が表示され、そこからインターネットに接続することができます。接続先とユーザー名を確認し、パスワードを入力して［接続］をクリックします。

次のページへつづく

❷ ユーザー名（チェックシートの❹）と 電話番号（チェックシートの❸）が正しいか確認する。

❸ [接続] をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。

「現在（ダイヤルアップ接続名）に接続しています。」画面が表示されたときは、[閉じる] をクリックします。

[閉じる] をクリックする前に［今後、このメッセージを表示しない］をチェックしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下のタスクトレイには が表示されます。

これで、接続は完了です。
インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下のタスクトレイに が表示されます。
ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、次ページ以降をご覧ください。
接続を切断するときは：下記の「接続を切断するには」をご覧ください。
接続できなかった場合は：「困ったときは」の「インターネットに接続できない。」(203ページ）をご覧ください。

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金が課金されています。操作を行っていないときは、インターネットの接続を切断します。
接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- **デスクトップ画面右下タスクトレイの を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。**

- **デスクトップ画面右下タスクトレイの をダブルクリックして表示される「(ダイヤルアップ接続名）に接続」画面で 切断(C) をクリックする。**

- **「Internet Explorer」ソフトウェアまたは「Outlook Express」ソフトウェアを終了すると表示される「自動切断」画面で 今すぐ切断する(N) をクリックする。**

ちょっと一言

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません。
- 「自動切断」画面は「自動切断を使用しない」の □ をクリックして ☑ にすると、次回インターネットに接続したときからは表示されません。

次のページへつづく

6 ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

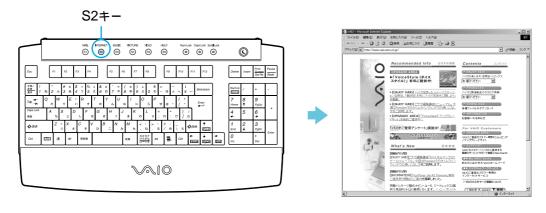
以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下のタスクトレイに が表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下記の操作を行うと、「インターネット接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」（150ページ）の手順に従い、インターネットに接続し、 を表示させてください。

1 「Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

キーボードの S2 キーを押す。

「Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。

S2キー

ちょっと一言

「Internet Explorer」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面上の （Internet Explorer）をダブルクリックするか、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［プログラム］にポインタを合わせ、［Internet Explorer］をクリックする方法もあります。

ご注意

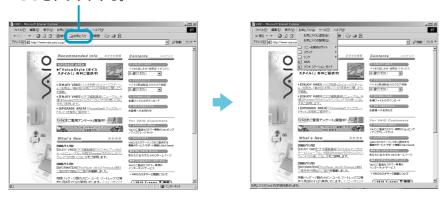
「Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。上の図は、最初に表示されるホームページをVAIOホームページに設定したときの例です。設定のしかたについては、「Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

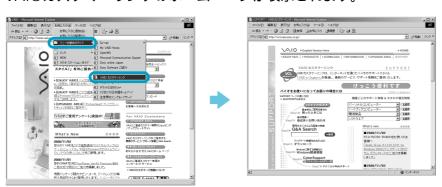
ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは」の「インターネットに接続できない。」（203ページ）をご覧ください。

2 「Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

1 **ツールバーの お気に入り をクリックする。**

メニューが表示されます。

2 **［ソニーお勧めのサイト］にポインタを合わせ、［VAIOカスタマーリンク］をクリックする。**

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

3 ホームページのURL（ユーアールエル）を入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（URL：http://vcl.vaio.sony.co.jp/）を見てみます。

URLとは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と言います。URLを書き込むことでホームページが見られます。URLの最初には必ず「http://」がつきます。

1

アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。

ここにURLを入力する。

「~」（チルダ）を入力するには

インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~」（チルダ）を入力するには、「直接入力」（74ページ）または「半角英数」を選び、Shift（シフト）キーを押しながら ~ キーを押します。

2

キーボードの Enter（エンター）キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

4　目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。
ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1

ツールバーの 検索 をクリックする。

検索画面が表示されます。

ここをクリックする。

2

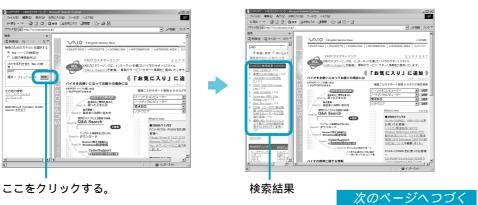
検索画面の中央上にある [　　　　] の中に「VAIO」と入力する。

3

検索 をクリックする。

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

ここをクリックする。　　検索結果

次のページへつづく

4 見たいホームページをクリックする。

クリックしたホームページが表示されます。

5 よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。
ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

ちょっと一言

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1 アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。

2 キーボードの Enter（エンター）キーを押す。

Sony online Japanのホームページが表示されます。

3

メニューバーの お気に入り(A) をクリックし、次に［お気に入りに追加］をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4

「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、 OK をクリックする。

ここでは「Sony online Japan」と入力します。

ここに「Sony online Japan」と入力する。

Sony online Japanホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

6 「Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1

［ファイル］にポインタを合わせ、クリックする。

ファイルメニューが表示されます。

次のページへつづく

2

［閉じる］にポインタを合わせ、クリックする。

「Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3

デスクトップ画面右下のタスクトレイの を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

7 電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

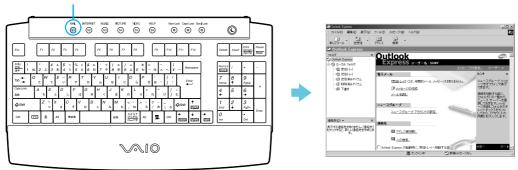
電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

1 *「Outlook Express」ソフトウェアを起動する*

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

キーボードの (S1) キーを押す。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

S1キー

「接続」画面が表示されたときは、 オフライン作業(O) をクリックして画面を閉じてください。

オフライン作業とは

「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェアを使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

次のページへつづく

ちょっと一言

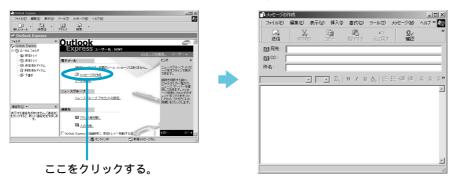
「Outlook Express」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面上の（Outlook Express）をダブルクリックするか、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、［プログラム］にポインタを合わせて、［Outlook Express］をクリックする方法もあります。

2 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 ［メッセージの作成］をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。

ここをクリックする。

ちょっと一言

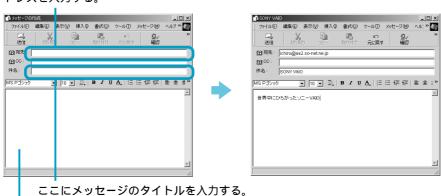
電子メールを書くときはインターネットに接続していない状態（オフライン作業）で書いた方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界中にひろがったソニーVAIO」と入れてみます。
タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。
文字の入力のしかたについて詳しくは、「文字の入力を練習する（キーボードの使いかた）」（65ページ）をご覧ください。

ここに送り先（今回は自分）の電子メールアドレスを入力する。

ここにメッセージのタイトルを入力する。

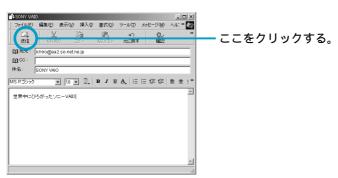
ここにメッセージの本文を入力する。

3 ［ファイル］をクリックし、［オフライン作業］をクリックする。

「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

ここをクリックする。

4 ツールバーの［送信］をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名) に接続中」画面が表示され、本機がインターネットに接続し、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

オフライン (インターネットに接続していない状態) で［送信］をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」のツールバーの［送受信］をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

次のページへつづく

3 電子メールを受信する

手順2で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

インターネットに接続した状態で、ツールバーの［送受信］をクリックする。

手順2で送った電子メールが届きます。

ここをクリックする。

メールが届く。

ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか？」というメッセージが表示されます。この場合は、［はい(Y)］をクリックしてください。

ちょっと一言

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう（153ページ）。

4 受け取った電子メールを見る

手順3で届いた電子メールを見てみます。

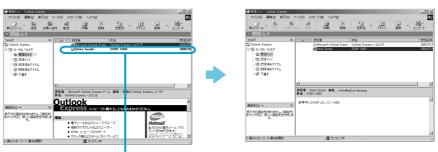
1 ［受信トレイ］をクリックする。

受信トレイの中味が表示されます。

ここをクリックする。

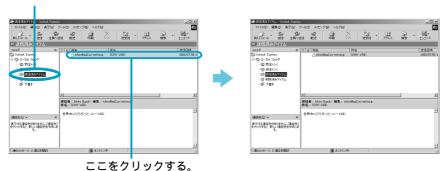
2

［SONY VAIO］をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

5 送った電子メールを見る

手順2で送った電子メールを見てみます。

［送信済みアイテム］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは」の「インターネットに接続できない。」（203ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

6 「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 **［ファイル］にポインタを合わせ、クリックする。**

ファイルメニューが表示されます。

2 **［終了］にポインタを合わせ、クリックする。**

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

3 **デスクトップ画面右下のタスクトレイの を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。**

インターネットへの接続が切断されます。

本機の使いかたがわからないときに

この章では、本機の使いかたがわからなくなったときに
読むマニュアルやヘルプの使いかたについて説明します。

どのマニュアルを読む？

本機に付属しているマニュアルの内容を簡単に紹介します。それぞれの目的に合わせてお読みください。
オンラインマニュアルの使いかたについて詳しくは、「オンラインマニュアルの使いかた（画面上の操作説明）」（170ページ）および「「サイバーサポート」ソフトウェアの使いかた」（182ページ）をご覧ください。

オンラインマニュアルとは

本機やソフトウェアの操作説明などをデスクトップ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

本機に付属しているマニュアル

❑ 取扱説明書（本書）

本機をお買い上げいただいたあとに最初に行う準備をはじめ、本機の基本的な使いかたや使用上のご注意などについて説明しています。

❑ 接続／拡張マニュアル

本機と周辺機器の接続方法や本機の機能を拡張する方法について説明しています。

コンピュータ上のマニュアル

❑ 本機のオンラインマニュアル

コンピュータの基礎的な知識をはじめ、本機の使いかたについて詳しく説明しています。また、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先なども説明しています。本書を読み終わった方は、デスクトップ画面上の VAIO をダブルクリックして必ずこちらもご覧ください。使いかたについて詳しくは、「本機のオンラインマニュアルを見るには」（170ページ）をご覧ください。
このオンラインマニュアルは、やりたいことの操作や困ったときの解決方法を検索できる「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアから検索することもできます。

❑ ソニー製のソフトウェアのオンラインマニュアル

本機に付属しているソニー製のソフトウェアの基本的な使いかたを説明しています。オンラインマニュアルの使いかたについて詳しくは、「付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには」（177ページ）をご覧ください。

- PictureGear（ピクチャーギア）
  本機で静止画や動画を見たり、保管するためのソフトウェア
- Media Bar（メディア バー）
  本機で音楽を聞いたり、映像を見たりするためのソフトウェア
- DVgate（ディーブイゲート）
  動画／静止画編集用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から動画や静止画を取り込むためのソフトウェア
- Navin' You（ナビン ユー）
  本機で地図を見たり、ルートの検索などが行えるソフトウェア
- Smart Capture（スマート キャプチャー）
  インターネット配信用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から動画や静止画を取り込むためのソフトウェア
- MovieShaker（ムービー シェーカー）
  本機に取り込んだ動画を編集するためのソフトウェア

その他のマニュアル

❑ 付属ソフトウェアの説明書

ソニー製以外のソフトウェアの使いかたを説明しています。

❑ Microsoft® Windows® Millennium Edition クイックスタートガイド

Windows Meの基本的な使いかたを説明しています。
本書の「コンピュータの基本操作を練習する」（41ページ）で説明している内容以外でわからないことがあるときにご覧ください。

❑ VAIOサービス・サポートのご案内

本機を使っていてトラブルが発生したときの対処方法や本機が故障したときなどのお問い合わせ先、サービス／サポートの内容について説明しています。

本機のオンラインマニュアルを見るには

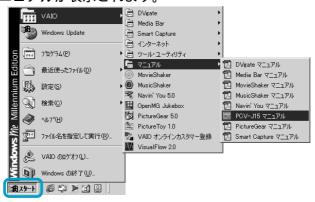
本機のオンラインマニュアルは、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使って表示します。

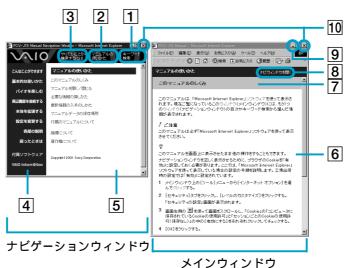
ご注意

本機のオンラインマニュアルは、必ず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使って表示させてください。

本機のオンラインマニュアルを見るには、「Windows Meを準備する」（32ページ）の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、以下のように操作します。

デスクトップ画面上の VAIO をダブルクリックするか、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［マニュアル］から［PCV-J15 マニュアル］をクリックする。

本機のオンラインマニュアルが表示されます。

本機オンラインマニュアルの画面の見かた

本機のオンラインマニュアルを開くと、ナビゲーションウィンドウとメインウィンドウの2つのウィンドウが開きます。
ナビゲーションウィンドウには目次が表示され、各項目の詳細がメインウィンドウに表示されます。

1 **キーワードから説明を探したいときにクリックします。詳しくは、「キーワードを入力して探すには」(174ページ)をご覧ください。**

2 **ここをクリックすると、5 に「マニュアルの使いかた」のトピック一覧が表示されます。**

トピックとは

ナビゲーションウィンドウの項目をクリックしたときに、メインウィンドウに表示される内容をここでは、「トピック」と呼んでいます。

3 **ここをクリックすると、5 に「やりたいことから検索するには」のトピック一覧が表示されます。**

4 **それぞれの章タイトルをクリックすると、その章タイトルに含まれているトピック一覧が 5 に表示されます。**

ちょっと一言

マウスの （ポインタ）を動かすと のかたちになる場所でクリックすると、項目やトピックが表示されます。黒い字の項目をクリックしても表示は変わりません。

5 **トピック一覧が表示されます。表示されたトピックタイトルをクリックするとメインウィンドウに操作手順などの説明が表示されます。**

6 **メインウィンドウ上に表示される以下の項目をクリックすると、クリックした項目の詳しい説明や、関連項目が表示されます。**

- ページをスクロールさせたいときは、画面右下の をクリックします。
- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容をクリックすると、その説明箇所が表示されます。
- 本文中の【詳細】をクリックすると、さらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- [ここにも注目] のトピックタイトルをクリックすると、関連する項目のあるページが表示されます。
- 本文中、緑色で表示されている言葉（単語）をクリックすると、その言葉の用語解説のページが表示されます。

7 **トピックタイトルが表示されます。**

8 **ナビゲーションウィンドウを閉じている場合にここをクリックすると、ナビゲーションウィンドウが再び表示されます。**

9 **ここをクリックするとウィンドウが最小化されます。ウィンドウを隠しておきたいときにクリックします。タスクバーのアイコンをクリックすればウィンドウは元の大きさに戻ります。**

10 **ここをクリックするとウィンドウを閉じることができます。マニュアルを読み終わったら、ここをクリックしてください。**

次のページへつづく

ちょっと一言

マニュアルを開くと2つのウィンドウが開きますが、必要に応じてどちらか片方のウィンドウを閉じることもできます。

- ナビゲーションウィンドウが閉じているときは、メインウィンドウ上の［ナビウィンドウを開く］をクリックします。
- メインウィンドウが閉じているときは、ナビゲーションウィンドウの目次やキーワード検索から、表示したい情報の項目を選んでクリックします。

ご注意

メインウィンドウで他のWebページを表示すると、ナビゲーションウィンドウで目次やキーワードを選んでもメインウィンドウに表示されなくなります。この場合は、一度メインウィンドウを閉じてから、再びナビゲーションウィンドウで目次やキーワードを選び直して、メインウィンドウを表示させてください。

必要な情報の探しかた

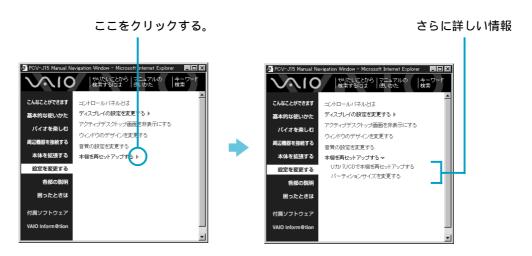
目次から探すには

1 **ナビゲーションウィンドウ左側の章タイトルをクリックする。**

クリックした章のトピック一覧がナビゲーションウィンドウ右側に表示されます。

2 説明を読みたいトピックタイトルをクリックする。

クリックしたトピックタイトルの情報がメインウィンドウに表示されます。

トピック一覧の最後に ▶ があるものは、クリックするとさらに詳しいトピック一覧が表示されます。

次のページへつづく

キーワードを入力して探すには

思いついた言葉を入力することによって関連するトピックを探し出します。
表示されたトピックのリストから必要なトピックをメインウィンドウに表示させます。

1 **ナビゲーションウィンドウ上部の キーワード検索 をクリックする。**

キーワードの入力欄が表示されます。

ここをクリックする。

2 **入力欄に思いつくキーワードを入力して、 検索 をクリックする。**

入力したキーワードを含む項目が表示されます。

❶ キーワードを入力する。 ❷ クリックする。 **キーワードを含む項目**

すべてのキーワードを表示したいときは、 全キーワードを表示する をクリックします。該当するキーワードがない場合は、「キーワードが見つかりません」と表示されます。

ご注意

英単語のキーワードを入力するときは、半角文字で入力してください。

3 表示したい項目を選んでクリックする。

選んだキーワードの解説がメインウィンドウに表示されます。

キーワードリストから探すには

1 ナビゲーションウィンドウ上部の キーワード検索 をクリックする。

キーワードリストが表示されます。

2 画面右下の ▼ をクリックして、キーワードリストから表示したい項目を選んでクリックする。

選んだキーワードの解説がメインウィンドウに表示されます。

ご注意

キーワードリストの中で黒字で表示されている項目は、キーワード検索の対象には含まれません。また、黒字で表示されている項目を選択して表示することはできません。

便利な使いかた

本機のオンラインマニュアルを表示しているブラウザの機能を使って、より便利に使いこなすことができます。

前のページに戻るには

メインウィンドウ上の 戻る をクリックします。

元のページに戻るには

メインウィンドウ上の （進む）をクリックします。

見ている画面を印刷するには

メインウィンドウ左上の［ファイル］をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックし、プリンタの設定を確認して OK をクリックします。

章ごとに印刷するには

章の内容を一度に印刷することができます。
ナビゲーションウィンドウ上部の［マニュアルの使いかた］をクリックして表示されるトピック一覧から［必要な情報の探しかた］を選び、メインウィンドウの上部に表示される［便利な使いかた］をクリックすると、章タイトルの一覧が表示されるので、印刷したい章タイトルをクリックします。
章の目次がメインウィンドウに表示されるので、画面上部の［ファイル］をクリックし表示されるメニューの［印刷］を選び、［リンクドキュメントをすべて印刷する］の ☐ をクリックして ☑ にし 印刷(P) をクリックして印刷してください。

マニュアルデータの保存場所

オンラインマニュアルのデータは、「C:￥Program Files￥sony￥Manual￥」フォルダに保存されています。誤ってこのフォルダを消去してしまわないようにご注意ください。

付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには

付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには、「Windows Meを準備する」（32ページ）の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、以下のように操作します。ここでは、「DVgate」ソフトウェアのオンラインマニュアルの内容を表示させてみます。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［マニュアル］を選び、［DVgate マニュアル］をクリックする。

本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、「DVgate」ソフトウェアのオンラインマニュアルが表示されます。

「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアを初めて起動したときは

「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、同意する(A) をクリックしてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

下のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。画面を動かすには、Page Downキーを使ってください。

アドビシステムズ社
Adobe® Acrobat® Reader
エレクトロニック エンドユーザ使用許諾契約　End User License Agreement

お客様へのご注意
本エンドユーザ使用許諾契約(以下「本契約」)はお客様と米国のAdobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)(以下「アドビ」)との間の契約書(以下「本契約」といいます)で、本契約に基づいてアドビが提供する本ソフトウェア(以下に定義)をお客様がインストールまたは使用いただく場合の条件を規定するものです。お客様が本契約の本文の最後で「同意する」を選択されインストールを続けますと、お客様によって本契約のすべての条項が同意されたものとみなさせて頂きます。

下記の条項に同意されない場合は、末尾に指示された方法で「同意しない」を選択して下さい。「同意しない」を選択された場合には、本ソフトウェア(以下に定義)をインストール

使用許諾契約書の全条項に同意しますか? [同意しない]を選択すると、Acrobatが閉じます。[同意する]を選択しないと、Acrobatを起動できません。

同意する(A)　同意しない(D)

次のページへつづく

オンラインマニュアルの見かた

❶ サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、ここをクリックしてから、［サムネール］または［しおり］タブをクリックします。
❷ クリックしてページをめくります。
❸ クリックしてヘルプを表示します。
❹ クリックすると、オンラインマニュアルを終了します。
❺ クリックしてページをめくります。
❻ クリックして表示の大きさを変更します。
❼ ダブルクリックして、ページを表示します。

操作について詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」画面上部の ヘルプ(H) をクリックしてヘルプをご覧ください。

Windows Meのヘルプの使いかた

Windows Meの操作のしかたや設定の変更についての情報を検索できます。

Windows Meのヘルプを見るには

Windows Meのヘルプを見るには、「Windows Meを準備する」(32ページ)の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。

 ヘルプとは

Windows Meやソフトウェアなどの操作がわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して表示する機能のことです。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして、表示されるメニューから［ヘルプ］をクリックする。

「ヘルプとサポート」画面が表示されます。

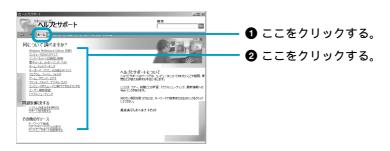
ヘルプの見かた

「ホーム」画面で知りたい情報を選ぶか、「キーワード」画面や「検索」に知りたい情報についてのキーワードを入力して検索します。

「ホーム」で検索するには

ヘルプの目次を通じて、知りたい情報を絞り込んで参照できます。

「ホーム」画面で検索するには、 ホーム をクリックし、表示される項目のリンクをたどって知りたい情報を表示させます。

次のページへつづく

「キーワード」で検索するには

入力した語句に該当する項目を表示させます。
「キーワード」で検索するには、キーワード をクリックし、表示される入力欄に知りたい情報についてのキーワードを入力し、表示(D) を押します。

「ツアー＆チュートリアル」でWindows Meの操作を学習するには

Windows Meの機能の紹介や基本操作などを操作の流れに沿って学習することができます。
「ツアー＆チュートリアル」を体験するには、ツアー & チュートリアル をクリックし、知りたい機能や情報の項目をクリックします。

「検索」で検索するには

特定の語句が含まれている項目について幅広く検索できます。
また、複数の語句を組み合わせることにより、より効率良く検索することもできます。
語句で検索するには、画面右上の検索入力欄に検索したい語句を入力し、Go をクリックします。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。それぞれのヘルプの使いかたについて詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書やオンラインマニュアルをご覧ください。
本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアにつき「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

 ヘルプとは

Windows Meやソフトウェアなどの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して表示する機能のことです。

「サイバーサポート」ソフトウェアの使いかた

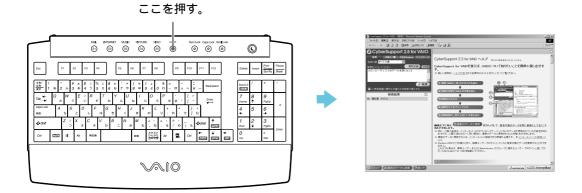
本機には、「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」という検索ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアを使うと、自分のやりたいことやトラブルの内容を入力するだけで、その操作方法や解決方法を知ることができます。

ちょっと一言

「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアは、本機オンラインマニュアルや本機に付属のソフトウェアのオンラインマニュアル、Windows Meのヘルプ、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから解決方法を検索します。

「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアを起動するには

キーボードの S6 キーを押す。

「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアが起動します。

「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアを初めて起動したときは

「使用許諾の確認」画面が表示されますので、内容を読み 同意する(Y) をクリックしてください。

「CyberSupport for VAIOへようこそ」画面が表示されます。

「次回から、このダイアログボックスを表示しない」の ☐ をクリックして ☑ にし、
閉じる をクリックしてください。

「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」の「「サイバーサポート」ソフトウェアを使う」をご覧ください。

ヘルプとは

Windows Meやソフトウェアなどの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して表示する機能のことです。

ちょっと一言

VAIOカスタマーリンクのホームページでは、製品出荷後の最新情報を提供しています。VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。

更新するには、インターネットに接続した状態で、「サイバーサポート」ソフトウェアの画面左下の 最新のデータに更新 をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは、数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。

操作について詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（105ページ）をご覧ください。

困ったときは

この章では、本機を操作していて困ったことやトラブルの解決方法を説明します。

トラブルを解決するには

本書を読みながら操作していてトラブルが発生したときは、あわてず下記の手順に従ってください。また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 トラブルが発生したときは188ページからの説明または、本機オンラインマニュアルの「困ったときは」の項目をご覧ください。

2 キーボードの S6 キーを押し、付属の「サイバーサポート(CyberSupport for VAIO)」ソフトウェアを起動させ、トラブルの内容を入力し、検索してみてください。

「サイバーサポート(CyberSupport for VAIO)」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」の「「サイバーサポート」ソフトウェアを使う」をご覧ください。

3 VAIOカスタマーリンクのホームページを確認してください。

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載していますのでご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ http://vcl.vaio.sony.co.jp/

4 VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる。

以下のお問い合わせ先にご相談ください。

VAIOカスタマーリンク

電話番号

(0466) 30-3000

受付時間

平日	10時〜20時	一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。
土、日、祝日	10時〜17時	
(年末年始は除く)		

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」の項目をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① お客様のVAIO**カスタマーID**
② 本機の**型名**：PCV-J15
③ 本機の**製造番号**（保証書などに記載されている7桁の番号です）
④ カスタマー登録していただいたときの**電話番号**、または登録予定の**電話番号**

ちょっと一言
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している**周辺機器名**（メーカー名と型名）
⑥ 表示された**エラーメッセージ**
⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン
⑧ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑨ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ（修理をお申込みになるとき）
⑫ 筆記用具（修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です）

主なトラブルとその解決方法

ここでは、主なトラブルとその解決方法について説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（40ページ）の手順に従い、いったん電源を切ってください。他の方法で電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。
接続し直すときは、必ず「電源を切る」（40ページ）の手順に従い、いったん電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

トラブルの内容	参照ページ
電源	189ページ
ディスプレイ	191ページ
スピーカー	197ページ
文字入力	198ページ
マウス	199ページ
フロッピーディスク	200ページ
ハードディスク	200ページ
CD-ROM／CD-RW／CD-R	201ページ
i.LINK	202ページ
モデム／インターネット	202ページ
動画／静止画編集	227ページ
エラーメッセージ	228ページ

電源

電源が入らない。

→ 本機の電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。（30ページ）

→ すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認する。（24ページ）

→ スイッチ付テーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認する。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ キーボードが正しく接続されているか確認する。（26ページ）

→ プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows Meは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

→ 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

→「電源を切る」（40ページ）の操作をしても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合は、キーボードの Enter（エンター）キーを押してください。

→「スタート」メニューの［Windowsの終了］を選んでも、「Windowsの終了」画面が表示されない場合は、Alt（オルト）キーを押しながら F4 キーを数回押して「Windowsの終了」画面を表示させ、▼ をクリックして「終了」を選び、［OK］をクリックしてください。

Alt（オルト）キーを押しながら F4 キーを数回押しても「Windowsの終了」画面が表示されない場合は、Ctrl（コントロール）キーと Alt（オルト）キーを押しながら Delete（デリート）キーを押し、「プログラムの強制終了」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックしてください。

次のページへつづく

主なトラブルとその解決方法（つづき）

→ 前ページのいずれの操作を行っても電源が切れない場合は、本機前面の ⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源ランプが消灯するか確認してください。ただし、この操作をすると、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。また、本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、Safe（セーフ）モードで起動することがあります。その場合は、デスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（40ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

→ 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動してください。再起動できない場合は、本機前面の ⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」というメッセージが表示される。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っているときは、フロッピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押してください。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してから Ctrl（コントロール）キーと Alt（オルト）キーを押しながら Delete（デリート）キーを2回押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。
詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（237ページ）および「パーティションサイズを変更する」（245ページ）をご覧ください。

電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。

→ 本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。

→ BIOSの設定内容が壊れている。BIOSをお買い上げ時の設定に戻す。

1 **本機前面の ⏻（電源）ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードの F2 キーを押す。**

BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

2 **F5（Setup Defaults）キーを押す。**

「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

3 **Home／End キーを押して［Yes］を選び、Enter（エンター）キーを押す。**

すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 **F10（Save and Exit）キーを押す。**

「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 **Home／End キーを押して［Yes］を選び、Enter（エンター）キーを押す。**

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows Meが起動します。

→ BIOSをお買い上げ時の設定に戻しても再度メッセージが表示されるときは、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

ディスプレイ

画面に何も表示されない。

→ 本機とディスプレイの電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。（30ページ）

→ 本機とディスプレイを正しく接続する。（24ページ）

→ 本機とディスプレイの電源が入っているか確認する。（31ページ）

→ ディスプレイの明るさボタンとコントラストボタンで調整する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

次のページへつづく

画面に「OUT OF SCAN RANGE」と表示される。

→ ディスプレイの電源を入れる前に、本機の電源を入れたか確認する。必ずディスプレイの電源を入れてから本機の電源を入れてください。

→ 約15秒間待つと、正しい表示になることがあります。

→ 上記の操作を行っても「OUT OF SCAN RANGE」と表示される場合は、以下の操作を行ってみてください。

1 **キーボードの Ctrl（コントロール）キーと Alt（オルト）キーを押しながら Delete（デリート）キーを押して本機を再起動する。**

2 **Sonyのロゴがデスクトップ画面に表示されるのと同時に Ctrl（コントロール）キーを押し、「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されるまで押し続ける。**

3 **PgUp キーまたは PgDn キーを押して「3. Safe mode」を選び、Enter（エンター）キーを押す。**

本機がセーフモードで起動し、「ヘルプとサポート」画面が表示されます。

ご注意

30秒以内に手順3の操作を行ってください。30秒以内に操作しないと、「OUT OF SCAN RANGE」ともう一度表示されます。この場合は、手順1から操作をやり直してください。

4 **画面右上の ×（閉じるボタン）をクリックする。**

「ヘルプとサポート」画面が閉じます。

5 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

6 **［システム］をダブルクリックする。**

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

7 **［デバイスマネージャ］タブをクリックする。**

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

8 **［モニタ］をダブルクリックし、お使いのディスプレイ（SONY HMD-A101またはA200）以外のモニタの種類（「既定のモニタ」も含む）をすべて削除する。**
削除するには、モニタの種類をクリックして選び、［削除］をクリックし、メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

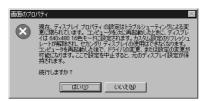
9 [閉じる] をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が閉じます。

10 「コントロールパネル」ウィンドウの [画面] をダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

11 [設定] タブをクリックし、[OK] をクリックする。

下図のようなメッセージが表示されます。

12 [はい] をクリックする。

下図のようなメッセージが表示されます。

13 [はい] をクリックする。

本機が再起動します。

14 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

15 [画面] をダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

16 [設定] タブをクリックする。

「設定」画面が表示されます。

17 「画面の領域」のスライダを動かし、「1024 x 768ピクセル」を選ぶ。

困ったときは

次のページへつづく

18 **[OK] をクリックする。**

下図のような画面が表示されます。

19 **[はい] をクリックする。**

本機が再起動します。

20 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

21 **[画面] をダブルクリックする。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

22 **[設定] タブをクリックする。**

「設定」画面が表示されます。

23 **「色」の ▼ をクリックし、表示されるリストから [True Color (32ビット)] をクリックする。**

ご注意

「画面の領域」の設定は変更しないでください。

24 **[OK] をクリックする。**

「互換性の警告」画面が表示されます。

25 **[新しい色の設定でコンピュータを再起動する] をクリックし、[OK] をクリックする。**

下図のような画面が表示されます。

26 **[はい] をクリックする。**

本機が再起動します。

27 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

28 ［画面］をダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

29 ［設定］タブをクリックする。

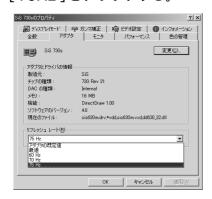
「設定」画面が表示されます。

30 ［詳細］をクリックする。

「SiS 730sのプロパティ」画面が表示されます。

31 ［アダプタ］タブをクリックする。

「アダプタ」画面が表示されます。

32 「リフレッシュレート」の ▼ をクリックし、表示されるリストか［75Hz］をクリックする。

33 ［適用］をクリックする。

下図のようなメッセージが表示されます。

次のページへつづく

34 ［はい］をクリックする。

下図のようなメッセージが表示されます。

35 ［OK］をクリックする。

下図のようなメッセージが表示されます。

36 ［はい］をクリックする。

37 「SiS 730sのプロパティ」画面で［OK］をクリックする。

38 「画面のプロパティ」画面で［OK］をクリックする。

→ 上記の操作を行っても「OUT OF SCAN RANGE」と表示される場合は、リカバリ CDを使って本機を再セットアップしてください。詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（237ページ）をご覧ください。

画像が乱れる。

→ ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離す。

画質が悪い。

→ ディスプレイの調整ボタンで画質を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

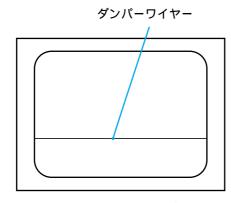
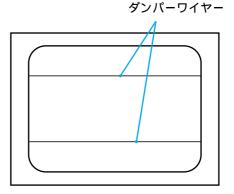
画像の端が欠ける。

→ ディスプレイの調整ボタンで調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整ボタンで調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

画面に細い横線が出る。

→ トリニトロン管内部のアパチャーグリルに取り付けられたダンパーワイヤーの影です。ダンパーワイヤーは、アパチャーグリルの振動を抑える働きをしています。アパチャーグリルは、ソニートリニトロンカラーコンピューターディスプレイHMD-A101などのトリニトロン管特有の構造です。故障ではありません。

ソニートリニトロンカラーコンピューター
ディスプレイHMD-A101

ソニートリニトロンカラーコンピューター
ディスプレイHMD-A200

スピーカー

音が出ない。

→ アクティブスピーカーの音声ケーブルが本機にしっかり接続されているか確認する。（25ページ）

→ アクティブスピーカーの電源コードがスピーカー用ACアダプタのプラグにしっかり接続されているか確認する。（30ページ）

→ スピーカー用ACアダプタがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。（30ページ）

→ スイッチ付テーブルタップなどにスピーカー用ACアダプタをつないでいるときは、スイッチが入っているか、また、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認する。

→ アクティブスピーカーの電源が入っているか確認する。（31ページ）

→ アクティブスピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ Windowsの音量がミュートまたは最小になっている。デスクトップ画面右下のタスクトレイの (スピーカーアイコン) をダブルクリックして、音量を上げる。

次のページへつづく

主なトラブルとその解決方法（つづき）

文字入力

日本語が入力できない。

→ 「文字の入力を練習する（キーボードの使いかた）」（65ページ）をご覧ください。

全角の「～」が入力できない。

→ MS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで、ひらがなで「から」と入力し「～」が選ばれるまで [ ]（スペース）キーを押すか、[Shift]（シフト）キーを押しながら [^ へ] を押します。

URLで使われる半角の「~」（チルダ）が入力できない。

→ MS-IMEツールバーで「直接入力」または「半角英数」を選んで [Shift]（シフト）キーを押しながら [^ へ] キーを押します。

入力した文字が表示されない。

→ 本機とキーボードが正しく接続されているか確認する。（26ページ）

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（画面上では薄い色のウィンドウになります。）画面のどこかをクリックするか、[Alt]（オルト）キーと [Tab]（タブ）キーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする（画面の上の部分が青い色になります）。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上のNum Lock（ナム・ロック）ランプが消灯していないかを確認してください。消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。[NumLk ScrLk]（ナム・ロック）キーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

→ 「コントロールパネル」ウインドウの中の （システム）をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブでキーボードの項目が「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

マウス

マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。

→ マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻す。

画面上のポインタが動かない。

→ 本機とマウスが正しく接続されているか確認する。

→ マウスの内部が汚れている場合は、マウスを掃除する。（254ページ）

→ [Windows] キーを押して「スタート」メニューを表示させ、[↑ PgUp] キーまたは [↓ PgDn] キーを押して［Windowsの終了］を選んで、[Enter]（エンター）キーを押す。そのあと [↑ PgUp] キーまたは [↓ PgDn] キーで「再起動」を選び、[Enter]（エンター）キーを押して本機を再起動する。

→ [Windows] キーを使って電源を切れない場合は、[Ctrl]（コントロール）キーと [Alt]（オルト）キーを押しながら [Delete]（デリート）キーを2回押して、本機を再起動する。

→ CD-ROMを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、[Ctrl]（コントロール）キーと [Alt]（オルト）キーを押しながら [Delete]（デリート）キーを押し、CD-ROMを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動する。

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ [Ctrl]（コントロール）キーと [Alt]（オルト）キー、[Delete]（デリート）キーを同時に押して、本機を再起動する。

→ 上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機前面の ⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源をいったん切ってから入れ直す。

スクロールしない。

→ スクロール機能に対応していないソフトウェアを起動している。スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

マウスを動かしてもカーソルが動かない。

→ オートスクロール設定になっている。ホイールボタンを押して、オートスクロールの状態を解除してください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

→ 本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクを入れる／取り出す」の「フロッピーディスクを取り出すには」をご覧ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「このディスクは書き込み禁止されています。」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクを書き込み禁止にする」をご覧ください。

フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクを書き込み禁止にする」をご覧ください。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（237ページ）をご覧ください。

ハードディスクの内容を誤って消してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（237ページ）をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

→ CD-RWドライブにリカバリ CDが入っていないか確認する。

→ CD-RWドライブにブータブルCDが入っていないか確認する。

→ 上記の操作を行っても起動できない場合は、リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする。詳しくは「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（237ページ）をご覧ください。

CD-ROM／CD-RW／CD-R

CD-ROMが読み込めない、または音楽CDの再生時、音がとぎれる。

→ CD-ROMをCD-RWドライブに入れてください。

→ CD-ROMが正しくCD-RWドライブに入っているか確認する。CD-ROMは文字が書いてある面を上にして入れます。

→ CD-ROMの再生面を柔らかい布できれいにふき、汚れをとる。

→ CDレンズクリーナーでレンズの汚れをとる。

→ 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう一度再生してみる。

→ 使用できないディスクの可能性があります。本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「使用できるディスク」をご覧ください。

CD-Rに書き込めない。

→ CD-Rは一度書き込むと書き換えはできません。

→ CD-Rはディスクがいっぱいになると、一度書き込んだデータを削除しても空き容量は増えません。

CD-RW／CD-Rへの書き込み時にデータの書き損じが起こる。

→ データの書き込み前に準備を行う。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CD-RW／CD-Rにデータを記録する」の「データを記録する前にお読みください」をご覧ください。

書き込んだCD-RW／CD-Rが他のコンピュータのCD-ROMドライブで読み込めない。

→ 「DirectCD」ソフトウェアで書き込んだCD-RW／CD-Rは、他のコンピュータのCD-ROMドライブで読み込むための設定が必要です。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CD-RW／CD-Rにデータを記録する」の「「DirectCD」ソフトウェアを使ってデータを記録する」をご覧ください。

次のページへつづく

CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。

→ CD-RWを使用して作成した音楽CDはCD-RWに対応しているドライブでのみ再生できます。

CD-ROMが取り出せない。

→ 本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CD-ROMを使う」の「ディスクを入れる／取り出す」をご覧ください。

CD-RW／CD-Rが取り出せない。

→ CD-RW／CD-RはOPEN／CLOSEボタンを押してもディスクがロックされている場合など、状態によってはトレイが引き出されないことがあります。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CD-RW／CD-Rにデータを記録する」の「「DirectCD」ソフトウェアを使ってデータを記録する」または「「Easy CD Creator」ソフトウェアを使ってデータを記録する」をご覧ください。

i.LINK

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。

→ i.LINK対応機器の電源を切り、いったんi.LINKケーブルを抜き差ししてから、電源を入れ直してください。

モデム／インターネット

オンラインでカスタマー登録できない。

→ 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。（27ページ）

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。（101、128ページ）
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTから送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）にお問い合わせください。

→ ISDN回線をお使いの場合は、ターミナルアダプタのアナログポートと本機のLINEジャックをつないでください（29ページ）。

インターネットに接続できない。

インターネットへの接続から、ホームページの閲覧や電子メールのやりとりは、
以下の手順で行われています。

❶ **本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ（ISDN回線の場合）を認識する。**

❷ **本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかける。**

❸ **プロバイダのサーバーに接続され、プロバイダと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われる。**

❹ **プロバイダのサーバーが、ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目を確認する。**

ここまでで問題がなければ、本機がインターネットに接続します。

❺ **ウェブブラウザ（「Internet Explorer」ソフトウェアなど）でホームページを見る。**

❻ **電子メールをやりとりする。**

インターネットに接続できない場合は、上記の各手順で問題があることが考えられます。次ページのチェック項目に従って接続や設定を確認してください。
それでも接続できないときは、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

次のページへつづく

1　本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ（ISDN回線の場合）を認識していない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目	ここをご覧ください
□ 内蔵モデムは認識されていますか？ また、接続した電話回線は内蔵モデムで使用できるものですか？	A（206ページ）、B（207ページ）
□ ISDN回線に接続していませんか？	C（210ページ）、D（211ページ）、E（211ページ）
□ テレホンコードは正しく接続されていますか？	F（211ページ）、G（211ページ）、H（211ページ）

2　本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかけていない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目	ここをご覧ください
□ ダイヤル方法は正しいですか？	I（212ページ）、J（213ページ）
□ 接続先（プロバイダのアクセスポイント）の電話番号は間違っていませんか？	K（213ページ）
□ トーンを待ってダイヤルする設定になっていませんか？	L（214ページ）
□ 内蔵モデムやターミナルアダプタが3回以上連続してダイヤルしていませんか？	M（215ページ）

3　プロバイダのサーバーと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われていない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目	ここをご覧ください
□ ネゴシエーションは正しくできていますか？	N（215ページ）
□「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報など、他の電話番号にダイヤルしても接続できませんか？	O（216ページ）、P（217ページ）、Q（217ページ）

4 ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目がプロバイダのサーバーによって認証されない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目	ここをご覧ください
□ ユーザー名やパスワードは正しく設定されていますか？	R（218ページ）
□ ユーザー名やパスワードを忘れてしまったのですか？	S（219ページ）
□ ダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	T（219ページ）
□ ネットワークの設定は正しいですか？	U（221ページ）
□ ダイヤルアップアダプタを削除し、ダイヤルアップ接続アイコンを作り直しても接続できませんか？	V（222ページ）

5 ウェブブラウザ（「Internet Explorer」ソフトウェアなど）でホームページを見ることができない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目	ここをご覧ください
□ ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	W（224ページ）
□ ホームページのURLをアドレスバーに入力してホームページを見るとき、URLは正しいですか？	X（225ページ）

6 電子メールをやりとりできない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目	ここをご覧ください
□ 電子メールソフトウェアの設定は正しいですか？	Y（225ページ）、 Z（226ページ）

次のページへつづく

A PBXなどの交換機や他の通信機器を経由して接続している。

NTTの一般電話回線と直接接続してください。本機の内蔵モデムは一般電話回線との接続を前提としています。集合住宅などで、PBXなどの交換機を経由する場合は、PBXなどの交換機が一般電話回線用のモデムに対応しているか確認してください。対応していない場合、接続できなかったり、本機の故障や破損の原因となることがあります。また、接続できても途中でとぎれたり、通信速度が遅いことがあります。
PBXなどの交換機を経由して0発信で接続するときは、以下の手順に従って操作し、外線発信番号を「0」（0発信）にしてください。

1 デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 （モデム）をダブルクリックする。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

4 ［ダイヤルのプロパティ(D)］をクリックする。

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

5 「外線発信番号」の「市内電話」と「市外電話」に半角で「0」（ゼロ）と入力する。

6 [OK] をクリックする。

7 「モデムのプロパティ」画面で [プロパティ(R)] をクリックする。

内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

8 [接続] タブをクリックする。

「接続」画面が表示されます。

9 「接続オプション」の「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。

10 [OK] をクリックする。

11 「モデムのプロパティ」画面で [閉じる] をクリックする。

B 以下の手順に従って操作し、内蔵モデムが正しく認識されているか確認してください。

1 内蔵モデムが本機に認識されているか確認します。

1 デスクトップ画面左下の [スタート] をクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

次のページへつづく

2 **ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。**

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 **（モデム）をダブルクリックする。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

4 **［検出結果］タブをクリックする。**

「検出結果」画面が表示されます。

5 **お使いのモデムをクリックして選び、詳細(M)... をクリックする。**

「詳細…」画面が表示されたら、内蔵モデムは正しく認識されています。

「詳細…」画面が表示されない場合は、本機を再起動して手順1〜5をもう一度行ってください。

2 内蔵モデムが他のデバイスと競合していないか確認します。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 **ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。**

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

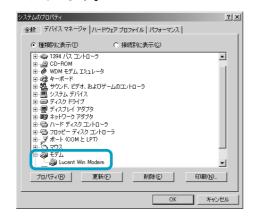
3 (システム) をダブルクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 [デバイスマネージャ] タブをクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

5 (モデム) をダブルクリックする。

お使いのモデムのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。

③ 内蔵モデムの設定をいったん削除し、もう一度、組み込み直します。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 ウィンドウ左側の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックする。

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 (システム) をダブルクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 [デバイスマネージャ] タブをクリックする。

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

次のページへつづく

5 **（モデム）をダブルクリックする。**

6 **お使いのモデムをクリックして選び、削除(E) をクリックする。**

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

7 **OK をクリックする。**

内蔵モデムの設定が削除されます。

8 **「システムのプロパティ」画面で 閉じる をクリックする。**

「システムのプロパティ」画面が閉じます。

9 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[Windowsの終了] をクリックして表示される「Windowsの終了」画面で「再起動」を選び、 OK をクリックする。**

本機が再起動します。再起動時に内蔵モデムが検出され、対応するドライバが自動的に組み込まれます。

C 一般電話回線がある場合は、一般電話回線に接続し直してください。

本機に付属の「オンラインカスタマー登録」ソフトウェアはISDN回線に対応していません。また、契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインカスタマー登録後またはオンラインサインアップ後に、ISDN回線に接続し直してください。

D ISDN回線しかない場合は、本機の内蔵モデムをターミナルアダプタのアナログポートに接続するか、または、ターミナルアダプタの設定を行い、内蔵モデムの代わりに使用してください。

ターミナルアダプタの設定について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
本機に付属の「オンラインカスタマー登録」ソフトウェアはISDN回線に対応していません。また、契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。
オンラインカスタマー登録後またはオンラインサインアップ後に、本機のシリアルコネクタまたはUSBコネクタとターミナルアダプタのデジタルポート（シリアルコネクタまたはUSBコネクタ）を接続し直してください。

E ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認してください。

詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

F 本機を電話回線に接続するときは、付属のテレホンコードをお使いください。

G 「発信音が聞こえません」または「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」というメッセージが表示されたときは、本機側および壁側、ターミナルアダプタなどへテレホンコードがしっかりと奥まで接続されているか確認してください。

H 電話回線のコンセントと本機の間に付属以外の分配器などの機器をつなげないでください。

次のページへつづく

以下の手順に従って操作し、ダイヤル方法（トーン／パルス）が正しく設定されているか確認してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。

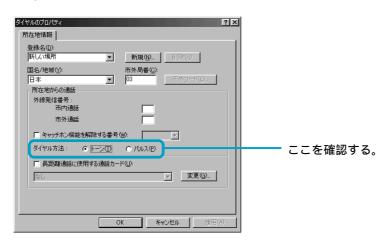
「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 （モデム）をダブルクリックする。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

4 ダイヤルのプロパティ(D) をクリックする。

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

5 「ダイヤル方法」がチェックシートの❷トーン／パルス（電話回線の種類）と同じか確認する。

6 OK をクリックする。

7 「モデムのプロパティ」画面で OK をクリックする。

J お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTから送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）にお問い合わせください。

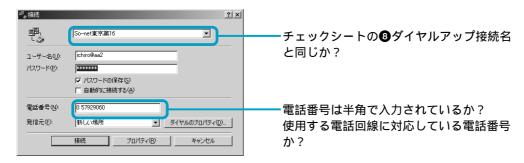
K 以下の手順に従って操作し、接続先の電話番号を確認してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[設定]、[ダイヤルアップネットワーク]の順にポインタを合わせ、[ダイヤルアップネットワーク]をダブルクリックする。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

2 ダイヤルアップ接続名（チェックシートの❽ダイヤルアップ接続名）のアイコンをダブルクリックする。

「接続」画面が表示されます。

3 「電話番号」の入力欄が間違っていないか確認する。

ちょっと一言

プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号をわけていることもあります。使用する電話回線に合った電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

次のページへつづく

L　以下の手順に従って操作し、トーンを待ってダイヤルする設定を解除します。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2　ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3　（モデム）をダブルクリックする。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

4　［プロパティ(R)］をクリックする。

「Lucent Win Modemのプロパティ」画面が表示されます。

5　［接続］タブをクリックする。

「接続」画面が表示されます。

6　「接続オプション」の「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。

7 OK をクリックする。

8 「モデムのプロパティ」画面で 閉じる をクリックする。

M 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかる場合があります。3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

N 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、以下のような問題が考えられます。

ネゴシエーションとは？

内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダのサーバーとの間で必要な信号のやりとりを行うことで、接続先につながると、「ピーヒョロロロ…」という音がします。

電話回線の問題

- 電話回線の状態が良くない。
- 電話回線が混み合っている。

この場合は、時間帯をずらして再度、接続してみてください。

接続先（プロバイダのアクセスポイント）の問題

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして再度、接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更するには、以下の手順に従って操作します。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］、［ダイヤルアップネットワーク］の順にポインタを合わせ、［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックする。**

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

2 **ダイヤルアップ接続名（チェックシートの❽ダイヤルアップ接続名）のアイコンをダブルクリックする。**

「接続」画面が表示されます。

次のページへつづく

3 **「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。**

4 **接続 をクリックする。**

○ 以下の手順に従って操作し、「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報の電話番号に接続できるか試してください。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］、［通信］、［ハイパーターミナル］の順にクリックする。**

「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

2 **「名前」に任意の名前を入れ、 OK をクリックする。**

3 **「電話番号」に時報の番号を入れ、 OK をクリックする。**

トーン回線をお使いの方は「ATDT117」と入力します。パルス回線をお使いの方は「ATDP117」と入力します。

「接続」画面が表示されます。

4 **ダイヤル をクリックする。**

P **お使いになっているソフトウェアの設定を確認してください。**

Q **内蔵モデムの通信速度を遅くしてから接続してみてください。通信速度を遅くすると、うまく接続できることがあります。**

通信速度を遅くするには、以下の手順に従って操作します。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 **ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。**

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 **（モデム）をダブルクリックする。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

4 **プロパティ(R) をクリックする。**

「Lucent Win Modemのプロパティ」画面が表示されます。

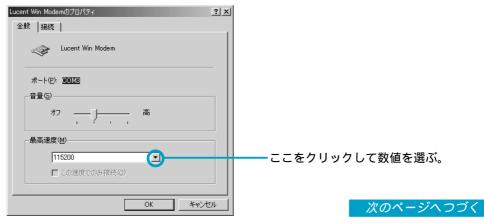
5 **［全般］タブをクリックする。**

「全般」画面が表示されます。

6 **「最高速度」の ▼ をクリックして、表示されるリストから遅めの数値（標準は115200）を選び、 OK をクリックする。**

次のページへつづく

7 「モデムのプロパティ」画面で 閉じる をクリックする。

この設定をしてもうまく接続できないときは
上記の手順6で「最高速度」の数値を少しずつ小さくして試してください。

R 「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示されたときは、ユーザー名やパスワードを確認してください。

ご注意
上記のメッセージは、ユーザー名やパスワードが正しくないときにのみ表示されるわけではありません。

ユーザー名とパスワードを確認するには、以下の手順に従って操作します。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］、［ダイヤルアップネットワーク］の順にポインタを合わせ、［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックする。
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

2 ダイヤルアップ接続名（127ページで作成したチェックシートの❽ダイヤルアップ接続名）のアイコンをダブルクリックする。
「接続」画面が表示されます。

3 プロパティ(R) をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

4 ［セキュリティ］タブをクリックする。
「セキュリティ」画面が表示されます。

5 「認証」の「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。

S プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

T ユーザー名やパスワードを確認して接続してもR（218ページ）で説明したメッセージが表示されるときは、以下の手順に従って、ダイヤルアップネットワークの設定を確認してください。127ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］、［ダイヤルアップネットワーク］の順にポインタを合わせ、［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックする。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

2 ダイヤルアップ接続名（127ページで作成したチェックシートの❽ダイヤルアップ接続名）のアイコンをダブルクリックする。

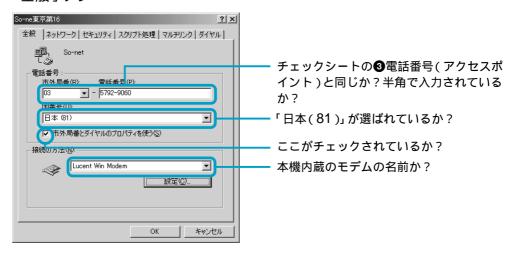
「接続」画面が表示されます。

3 プロパティ(R) をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

次のページへつづく

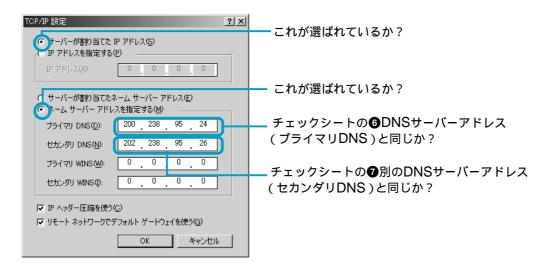
4 **各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。**

「全般」タブ

「ネットワーク」タブ

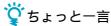
ご注意

チェックすべき項目以外はすべてチェックをはずしてください。

「TCP/IP設定」画面

「ネットワーク」タブで TCP/IP 設定(P)... をクリックすると表示されます。

ご注意

プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない（自動設定）場合は、［サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス］をクリックしてください。

ちょっと一言

DNSサーバーアドレス（プライマリDNSとセカンダリDNS）がチェックシートと違う場合は、［ネームサーバーアドレスを指定する］をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

U 以下の手順に従って操作し、ネットワークの設定を確認してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 （ネットワーク）をダブルクリックする。

「ネットワーク」画面が表示されます。

次のページへつづく

4 **「現在のネットワークコンポーネント」に以下の3つがあるか確認する。**

- 「Microsoft ネットワーク クライアント」
- 「ダイヤルアップ アダプタ」
- 「TCP/IP→ダイヤルアップ アダプタ」

どれか1つでもない場合は、追加(A)... をクリックして追加してください。
「ダイヤルアップアダプタ」がない場合は、下記のVの手順に従って操作してダイヤルアップ接続アイコンを作り直してください。

V ダイヤルアップアダプタを削除して再度組み直し、ダイヤルアップ接続アイコンを作り直して、接続してみてください。ダイヤルアップ接続アイコンを作り直すには、以下の手順に従って操作します。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 **ウィンドウ左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックする。**

「コントロールパネル」のすべての項目が表示されます。

3 **（ネットワーク）をダブルクリックする。**

「ネットワーク」画面が表示されます。

4 **「現在のネットワークコンポーネント」の中の「ダイヤルアップ アダプタ」をクリックして、 削除(E) をクリックする。**

5 **OK をクリックする。**

ダイヤルアップアダプタが削除されます。

6 **画面の指示に従って、本機を再起動する。**

7 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［設定］、［ダイヤルアップネットワーク］の順にポインタを合わせ、［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックする。**

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

8 **ダイヤルアップ接続名（127ページで作成したチェックシートの❽ダイヤルアップ接続名）のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。**

ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。

9 **（新しい接続）をダブルクリックする。**

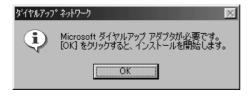
「新しい接続」画面が表示されます。

次のページへつづく

10 **「接続名」に任意のダイヤルアップ接続名を入力し、［次へ(N) >］をクリックする。**

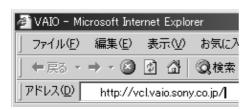
11 **電話番号を半角数字で入力し、［次へ(N) >］をクリックする。**

12 **［完了］をクリックする。**

下図のようなメッセージが表示されます。

13 **［OK］をクリックする。**

ダイヤルアップアダプタが組み直され、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。
このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

W **T（219ページ）やU（221ページ）の操作を行い、ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定を再度確認してください。**

X アドレスバーに入力されている英数字をご確認ください。また、URLは半角で入力してください。
URLの中には「~」（チルダ）という特殊な記号を入力するものもあります。「~」を入力するには、MS-IMEツールバーで「半角英数」または「直接入力」を選び、Shift（シフト）キーを押しながら ^ を押します。

Y 「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合は、以下の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。127ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

1 デスクトップ画面上の（Outlook Express）をダブルクリックするか、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「接続」画面が表示されたときは、 オフライン作業(O) をクリックします。

2 画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［アカウント］をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 ［メール］タブをクリックする。

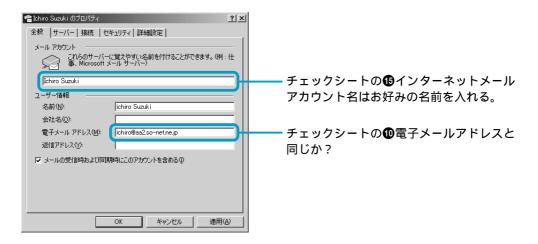
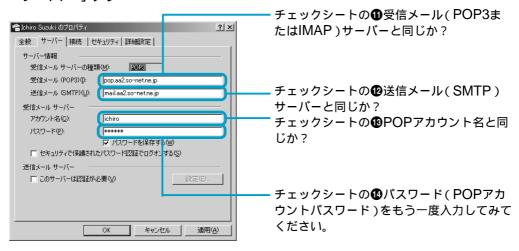
「メール」画面が表示されます。

4 お使いのアカウントをクリックして選び、 プロパティ(R) をクリックする。

お使いのアカウントのプロパティ画面が表示されます。

次のページへつづく

5　各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

「全般」タブ

「サーバー」タブ

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

Z　「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧になり、127ページで作成したチェックシートの⑩～⑭が正しく入力されているか確認してください。

動画／静止画編集

「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の認識ができない。「Smart Capture」ソフトウェアが起動している。「Smart Capture」ソフトウェアと「DVgate」ソフトウェアをいったん終了し、「DVgate」ソフトウェアのみを起動してください。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

→ 「DVgate」ソフトウェアについて詳しくは、「DVgate」ソフトウェアのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。

「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

→ 「MovieShaker」ソフトウェアについて詳しくは、「MovieShaker」ソフトウェアのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。

「DVgate Still」ソフトウェアを使って静止画の取り込みができない。

→ i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

→ 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

→ 「DVgate Still」ソフトウェアについて詳しくは、「DVgate」ソフトウェアのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画／静止画を電子メールで送れない。

→ 動画が電子メールで送れないときは、撮影時のモードを確認する。ネットムービーモードで撮影した動画のみ、電子メールに添付できます。

→ 「Smart Capture」ソフトウェアについて詳しくは、「Smart Capture」ソフトウェアのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。

→ 電子メールソフトウェアの設定が正しいか確認する。詳しくは「インターネットに接続できない。」（203ページ）をご覧ください。

エラーメッセージ

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」というメッセージが表示される。

→　190ページをご覧ください。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→　190ページをご覧ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→　200ページをご覧ください。

「このディスクは書き込み禁止されています」というメッセージが表示された。

→　200ページをご覧ください。

画面に「OUT OF SCAN RANGE」と表示される。

→　191ページをご覧ください。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。

→　218ページをご覧ください。

電源を入れた後、「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key.」というメッセージが出て、ハードディスクから起動できない。

→　フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押し、取り出す。その後、Enter(エンター)キーを押す。

電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。

→　190ページをご覧ください。

電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。

→　191ページをご覧ください。

「Windows Me CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される。

→ 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。以下の手順に従って操作してください。付属のリカバリ CD-ROMは、CD-RWドライブには挿入しないでください。

1 **メッセージが表示されたら、［OK］をクリックする**
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

2 **「ファイルのコピー元」に「C:¥Windows¥options¥cabs」と入力して、［OK］をクリックする。**
必要なファイルがコピーされます。

その他

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明します。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査／ウイルス除去用ソフトウェアとして「VirusScan」ソフトウェアが付属しています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。なお、本機には「VirusScan」ソフトウェアはあらかじめインストールされていません。「VirusScan」ソフトウェアをインストールするには、次ページの手順に従って操作してください。
なお、「VirusScan」ソフトウェアについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。
日本ネットワークアソシエイツ株式会社　テクニカルサポート
電話番号：(03) 3379-7770

ちょっと一言

「VirusScan」ソフトウェアは、本機ご購入時より1年間、無償でアップグレードを行うことができます。
アップグレード方法ならびにパッケージのご購入について詳しくは、下記にお問い合わせください。
日本ネットワークアソシエイツ株式会社
電話番号：(03) 5428-1100

「VirusScan」ソフトウェアをインストールするには

以下の手順に従って「VirusScan」ソフトウェアをインストールします。

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［McAfee ウイルススキャン］、［McAfee VirusScan セットアップ］の順にクリックする。**

インストールの準備後、「製品情報」画面が表示されます。

2 **次へ(N) をクリックする。**

「使用許諾契約」画面が表示されます。

3 **内容を確認後、「使用許諾契約の条項に同意します」の ○ をクリックして ◉ にし、次へ(N) をクリックする。**

「セットアップ方法の選択」画面が表示されます。

次のページへつづく

4

「通常インストール」の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ(N)］をクリックする。

「インストールの準備ができました。」画面が表示されます。

5

［開始(S)］をクリックする。

インストールが始まります。
インストールが終わると、「McAfee VirusScan のセットアップを完了します。」画面が表示されます。

6

［設定(C)］をクリックする。

「ウィルススキャン設定」画面が表示されます。

7

次へ(N)> をクリックする。

「ウィルススキャン設定」の「VirusScan メンテナンス」画面が表示されます。

8

「ウィルススキャンアップデートの実行」と「レスキューディスクを作成」の ☑ をクリックして ☐ にし、 完了(S) をクリックする。

「McAfee VirusScan インストーラー情報」画面が表示されます。

9

はい(Y) をクリックする。

本機が再起動します。

これでインストールは完了です。

「VirusScan」ソフトウェアをご使用になる際のご注意

- 「VirusScan」ソフトウェアのインストールを行うと、次回起動時から「VShield」ソフトウェアがデスクトップ画面右下のタスクトレイに常駐し、ウイルスの自動監視を行います。
- 「VShield」ソフトウェアのインストールにより、Windows Meの起動時間が長くなる場合があります。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新のデータファイルを入手できます。

  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは付属のリカバリ CD-ROM（以降、リカバリ CDと略します）を使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、お買い上げ時のハードディスク中のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

リカバリ CDを使うと、次のことができます。

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する（お買い上げ時の状態に戻る）。
- ハードディスクのパーティションのサイズを変更する。
  詳しくは「パーティションサイズを変更する」（245ページ）をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- 付属のリカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windows Meだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。 再セットアップ後に、もう一度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使ってください。「アプリケーション リカバリ CD-ROM」を使わずに再セットアップを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してから再セットアップしてください。

BIOSとは

「バイオス」と読みます。コンピュータの基本的な設定をするためのプログラムの集まりで、電源を入れると最初にBIOSの読み込みが始まります。もし、BIOSが正しく働かないと、コンピュータは起動しなくなります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW／CD-Rにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップを行う。

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。
「再セットアップする」の手順7で「フォーマットしてリカバリ」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「再セットアップする」の手順7で「パーティションサイズを変更してリカバリ」または「出荷時状態へリカバリ」を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。
パーティションサイズを変更したり、出荷時の状態に戻す前に、大切なデータはフロッピーディスクやCD-RW／CD-Rなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

再セットアップする

再セットアップする前に、以下の点を確認してください。

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、再セットアップが終わったあとに再び接続してください。
- 大切なデータはバックアップをとったか確認してください。
- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていないか確認してください。

Windows Meが完全に起動できない場合などに本機を再セットアップするときは、「Windows Meが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（242ページ）をご覧ください。
パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（245ページ）をご覧ください。

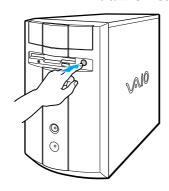
ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップする前に、大切なデータはフロッピーディスクやCD-RW／CD-Rなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(31ページ)をご覧ください。

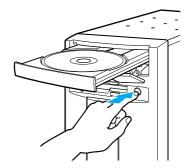
2 OPEN／CLOSEボタンを押す。

ディスクトレイが自動的に引き出されます。

3 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 1 of 2」を、レーベル面(文字が書いてある面)を上にして、ディスクをトレイの中央に置く。

4 OPEN／CLOSEボタンを押して、トレイを閉める。

自動的に「VAIO System Recovery Utility」が起動し、「はじめに」画面が表示されます。

次のページへつづく

5 **内容をよく読み、［次へ(N) >］をクリックする。**

6 **引き続き内容をよく読んでから「同意する」の○をクリックして◉にし、［次へ(N) >］をクリックする。**

「メニュー選択」画面が表示されます。

ちょっと一言

［同意しない］をクリックすると、再セットアップ作業を続けることはできません。

7 **再セットアップの方法を選んで、○をクリックして◉にし、［次へ(N) >］をクリックする。**

次の中から再セットアップの方法を選びます。

「フォーマットしてリカバリ（F）」：Cドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時のソフトウェアを復元します。

「パーティションサイズを変更してリカバリ（P）」：CドライブとDドライブのサイズを変更できます。その後、ハードディスクをフォーマットした上でファイルが復元されます。それ以前にハードディスク上にあったデータは、C、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

「出荷時状態へリカバリ（S）」：現在あるすべてのパーティションを削除し、出荷時状態へパーティションを強制的に戻します。その上で出荷時のソフトウェアを復元します。それ以前にハードディスク上にあったデータは、C、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

8 **画面の指示に従って操作し、「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されたら、「リカバリを開始する」の□をクリックして☑にし、［完了］をクリックする。**

自動的に本機が再起動し、再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは、［キャンセル］をクリックします。

9

「2枚目のディスクをいれてください。何かキーを押すとリカバリ処理を続行します。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をCD-RWドライブに入れ、何かキーボード上のキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

10

「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーボード上のキーを押し、本機を再起動する。

11

「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに [はい(Y)] をクリックして、本機を再起動する。

12

「Windows Meを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windows Meをセットアップする。

13

Windows Meのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をCD-RWドライブに入れる。

[OK] をクリックするとソフトウェアのセットアップが始まります。
ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックしてください。

14

本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットに接続するまでの流れ」（110ページ）の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

その他

Windows Meが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1

本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（31ページ）をご覧ください。

2

OPEN／CLOSE**ボタンを押す。**

ディスクトレイが自動的に引き出されます。

3

付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 1 of 2**」を、レーベル面（文字が書いてある面）を上にして、ディスクをトレイの中央に置く。**

4

OPEN／CLOSE**ボタンを押して、トレイを閉める。**

5

キーボードの Ctrl **（コントロール）キーと** Alt **（オルト）キーを押しながら** Delete **（デリート）キーを**2**回押し、本機を再起動する。**

リカバリ CDから本機が再起動します。

6 「何かキーを押してください。」というメッセージが表示されたら、何かキーボード上のキーを押す。

メニュー画面が表示されます。

7 再セットアップの方法を選び、Enter（エンター）キーを押す。

次の中から再セットアップの方法を選びます。再セットアップを中止するときは4を選びます。

「1.フォーマットしてリカバリ...」：Cドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時のソフトウェアを復元します。

「2.パーティションサイズの変更...」：CドライブとDドライブのサイズを変更できます。その後、ハードディスクをフォーマットした上でファイルが復元されます。それ以前にハードディスク上にあったデータは、C、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

「3.出荷時状態へリカバリ...」：現在あるすべてのパーティションを削除し、出荷時状態へパーティションを強制的に戻します。その上で出荷時のソフトウェアを復元します。それ以前にハードディスク上にあったデータは、C、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

「4.リカバリ CDを終了する...」

8 画面の指示に従って操作する。

操作を続けるかどうか聞かれたときは、Y ん キーを押して Enter（エンター）キーを押してください。再セットアップが始まります。

9 「2枚目のディスクをいれてください。何かキーを押すとリカバリ処理を続行します。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をCD-RWドライブに入れ、何かキーボード上のキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

10 「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーボード上のキーを押し、本機を再起動する。

次のページへつづく

11

「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに［はい(Y)］をクリックして、本機を再起動する。

12

「Windows Meを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windows Meをセットアップする。

13

Windows Meのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をCD-RWドライブに入れる。

［OK］をクリックするとソフトウェアのセットアップが始まります。
ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、
［OK］をクリックしてください。

14

本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットに接続するまでの流れ」（110ページ）の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

ご注意

BIOSの設定状態によっては、リカバリ CDが起動しないことがあります。この場合は、BIOSをお買い上げ時の設定に戻す必要があります。BIOSをお買い上げ時の設定に戻すには、以下のように操作します。

1 本機前面の ⏻（電源）ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードの F2 キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

2 F5（Setup Defaults）キーを押す。
「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。

3 ←Home ／ →End キーを押して［Yes］を選び、Enter（エンター）キーを押す。
すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 F10（Save and Exit）キーを押す。
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 ←Home ／ →End キーを押して［Yes］を選び、Enter（エンター）キーを押す。
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows Meが起動します。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（お買い上げ時）。付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、Windows MeはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

パーティションとは

ハードディスクなどの大容量補助記憶装置の領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出し書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクやCD-RW／CD-Rなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1

「再セットアップする」（238ページ）の手順1～6を行う。

2

再セットアップの方法の中から、「パーティションサイズを変更してリカバリ（P）」を選んで、○ をクリックして ◉ にし、［次へ(N) >］をクリックする。

「パーティションサイズを変更してリカバリ」画面が表示されます。
［詳細情報］をクリックすると、現在のパーティションサイズを確認できます。

3

一覧からパーティションサイズを選び、［次へ(N) >］をクリックする。

4

画面の指示に従って操作し、「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されたら、「リカバリを開始する」の □ をクリックして ☑ にし、［完了］をクリックする。

再セットアップを中止するときは［キャンセル］をクリックします。
パーティションサイズが変更され、自動的に本機が再起動します。再起動後、各ドライブが初期化され、再セットアップが始まります。

5

「2枚目のディスクをいれてください。何かキーを押すとリカバリ処理を続行します。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をCD-RWドライブに入れ、何かキーボード上のキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

6

「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーボード上のキーを押し、本機を再起動する。

7

「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに はい(Y) をクリックして、本機を再起動する。

8

「Windows Meを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windows Meのセットアップを行う。

9

Windows Meのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をCD-RWドライブに入れる。

OK をクリックするとソフトウェアのセットアップが始まります。
ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、
OK をクリックしてください。

10

本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットに接続するまでの流れ」（110ページ）の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

Windows Meが完全に起動しない状態で本機のパーティションサイズを変更するには

1 **「Windows Meが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（242ページ）の手順1～6を行う。**

2 **メニュー画面が表示されたら、「2.パーティションサイズの変更...」を選び、Enter（エンター）キーを押す。**

パーティションサイズの選択画面が表示されます。
Esc（エスケープ）キーを押すと、現在のパーティションサイズを確認できます。

3 **パーティションサイズを選び、Enter（エンター）キーを押す。**

サイズの変更を中止する場合は、N キーを押してから Enter（エンター）キーを押すと手順2の画面に戻ります。

4 **画面の指示に従って操作する。**

操作を続けるかどうか聞かれたときは、Y キーを押して Enter（エンター）キーを押してください。パーティションサイズが変更され、自動的に本機が再起動します。再起動後、各ドライブが初期化され、再セットアップが始まります。

5 **「2枚目のディスクをいれてください。何かキーを押すとリカバリ処理を続行します。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をCD-RWドライブに入れ、何かのキーボード上のキーを押す。**

再セットアップの続きが始まります。

6 **「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーボード上のキーを押し、本機を再起動する。**

7 **「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに [はい(Y)] をクリックして、本機を再起動する。**

8 **「Windows Meを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windows Meのセットアップを行う。**

9 **Windows Meのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をCD-RWドライブに入れる。**

[OK] をクリックするとソフトウェアのセットアップが始まります。
ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックしてください。

10 **本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットに接続するまでの流れ」（110ページ）の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。**

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- CD-RW／CD-Rにデータを記録中に振動や衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、本来はほこりや振動に弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。
ハードディスクにはほこりや振動からデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10°C以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

バックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップをとることをおすすめします。
ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windows Meのヘルプをお読みください。

CD-ROM／CD-RW／CD-Rの取り扱いについて

CD-ROM／CD-RW／CD-Rに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

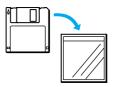
- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。CD-RW／CD-Rは記録面が汚れるとデータの書き込みができなくなります。記録面には触れないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- CD-RWやCD-Rのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの書き込みができなくなることがあります。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

次のページへつづく

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

コンピュータウイルスを侵入させないためには

- 見知らぬ人から送られてきた、またはネットワーク経由で入手した文書は必ずウイルスチェックをしてください。

本機にはコンピュータウイルス検査／ウイルス除去用ソフトウェアとして、「VirusScan」ソフトウェアが付属しています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

なお、本機には「VirusScan」ソフトウェアはあらかじめインストールされていません。233ページの手順に従って「VirusScan」ソフトウェアをインストールする必要があります。

- コンピュータウイルスはフロッピーディスクなどを介して広がることがありますので、他人のフロッピーディスクなどを使うときはご注意ください。フロッピーディスクなどのデータを共有する場合は、共有する人を限定してください。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新のデータファイルを入手できます。

  http://www.nai.com/japan/

- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポート
  電話番号：(03) 3379-7770

ウイルスが侵入して被害を受けてしまったときに備えて、日頃から作成した文書の控えをとる習慣をつけましょう。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは原則として禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みのうえ、お使いください。

データのバックアップについて

ハードディスクドライブに保存している文書などのデータは、定期的にバックアップをとるようおすすめします。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Me用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。

お手入れ

本機やディスプレイのお手入れ

本機やディスプレイについたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機やディスプレイの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- 濡れたもので本機やディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

CD-ROMのお手入れ

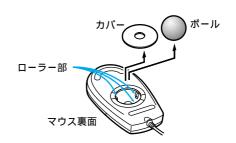
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外側へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

CD-RW／CD-Rのお手入れ

- CD-RW／CD-Rは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- CD-RW／CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- CD-RW／CD-Rは直射日光を避けて保存してください。

マウスを掃除する

マウスは長く使っていると、内部にゴミやほこりなどがたまり、画面上のポインタが思うように動かなくなります。この場合は、マウスの裏面のカバーを取りはずし、ボールを取り出して内部を掃除します。

- 乾いた布で内部のゴミやほこりなどを取り除いてから綿棒でローラー部のゴミをこすり取ってください。
- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、マウスを本機から取りはずしてからマウスを掃除してください。
- 濡れたものでマウスを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

キーボードを掃除する

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーの間は、エア・スプレーなどでゴミやほこりを散らしてください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 濡れたものでキーボードを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3ヶ月間です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、ハードディスクなどのプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- お客様のカスタマーID：
- 型名：PCV-J15
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

五十音順

次のページへつづく

アルファベット順

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。